

目次

Contents

第1. 計画策定の趣旨	1
1. 観光振興計画の目的	1
2. 観光の定義について	1
3. 計画の位置づけ	2
第2. 基礎的条件の整理	3
1. 既存観光施設・資源等の点検・整理	3
2. 主要観光資源の評価	13
3. アンケート調査	16
第3. 嘉麻市観光振興の課題	25
第4. 嘉麻市観光振興基本計画	28
1. 基本方針	28
2. 目標指標	29
3. 計画の推進体制	30
4. 観光振興展開プラン	31
資料編	
1. 観光政策の動向（県・市）	38
2. 観光に関するトレンド	42
3. 嘉麻市の観光動向	45
4. アンケート調査結果一覧	47

1

観光振興計画の目的

嘉麻市は、平成 18 年 3 月に山田市、稲築町、碓井町、嘉穂町の 1 市 3 町が合併して誕生しました。

旧市町には、自然や歴史、農産物直売施設、文化施設などの多様な観光資源を有しており、今後、嘉麻市として合併により大きく広がった観光の幅を活かし、県内外からの観光客の誘客を図ることによって、様々な面で嘉麻市の活性化を行うことが期待されます。

本計画は、嘉麻市の観光振興を推進していくために、総合的・体系的な観光振興を検討し、嘉麻市として目指す観光のガイドラインを示すことを目的とします。

2

観光の定義について

近年の観光は、従来の観光資源を「見てまわる」という行為に加え、「食べる」「買う」「体験する」などが重要な要素となっています。嘉麻市においても、温泉や旧所名跡を見てまわるような従来型の観光ではなく、地域の自然・農産物等を「見る」「触れる」「食べる」ことで嘉麻市の魅力を体感できる新しい発想による人の交流をめざすものとし、本計画における観光は、「**嘉麻市の魅力ある自然や農産物等資源を活かした体感型観光により、人の出会い・ふれあい・交流を生み出す活動**」を対象とします。

3

計画の位置づけ

本計画の位置づけは、嘉麻市の上位計画である嘉麻市総合計画と密接に関連し、かつ国及び県の観光関連計画等と整合を図りつつ策定を行うこととします。

【観光振興計画の位置づけ】

< 国・県の関連計画 >

国の関連計画

- 観光立国推進基本法（平成19年1月）
- 観光立国推進基本計画（平成19年6月）

県等の関連計画

- 第2次九州観光戦略（平成19年10月）
- 福岡プラスワン戦略（平成20年3月）

嘉麻市第1次総合計画

■まちづくりの将来像

“母なる遠賀川源流の恵みに満ちた
ふれあいと安心のまち”
遠賀川ハートフル嘉麻の里の創造

■観光振興指針

- 広域的観光ルートの整備
- 山間部を活用した滞在・体験型観光機能の充実
- 農林産物との連携による観光産業の活性化

嘉麻市観光振興基本計画

その他の嘉麻市の関連計画

1

既存観光施設・資源等の点検・整理

<主要観光資源施設等一覧>

(1) 自然的資源

馬見山・屏山・古処山	山・森	嘉穂エリア
馬見山 (978m)・屏山 (927m)・古処山 (860m) の3つの山が連なり、また古処山にはツゲの原生林がある。		
ツゲの原生林 (古処山)	山・森	嘉穂エリア
古処山の登山コースの頂上部分にあり、広さ3ha、樹齢1,000年を超える木もある国の特別天然記念物である。		
大法白馬山・バクチノキ	山・森	山田エリア
照葉樹の自然林に覆われ自然歩道が整備されている。麓には梅林公園がある。県指定天然記念物であるバクチノキは樹齢400年以上、樹高約18m。		
長谷山	山・森	碓井エリア
標高311mの山で、20分程度で登ることができる。		
三郎丸の大クス (河童伝説)	天然記念物	稲築エリア
市指定天然記念物。口春地区に、クスの老木が町を見守るように立っている。これが三郎丸の大クス。遠い昔、かっぱがこの木に縛りつけられて、イタズラをしないと誓ったという伝説がある。		
遠賀川の源流地 (馬見山)	川	嘉穂エリア
北部九州最大の川である遠賀川の源流である馬見山中腹の高さ6mの滝。		
龍ヶ瀧	川	山田エリア
遠賀川水系山田川の源流		
熊ヶ畑ひまわり畑	花	嘉穂エリア
見頃時期：7月下旬～8月中旬（満開見頃は8月上旬） 入場・観覧：無料 およそ10～20万本 / 11,000平方m（休耕田12枚）		

古処山キャンプ村「遊人の杜」	交流施設(自然)	嘉穂エリア
遠賀川の源流が流れ、国の特別天然記念物「ツゲの原生林」が広がる古処山の自然に囲まれたキャンプ村。1年を通して快適にファミリー・キャンプを楽しめる。 開設期間 通年（定休日：火曜日 ※ただし、7・8月は無休） コテージ（大） 1棟 コテージ（中） 3棟 コテージ（小） 5棟 コテージ（高） 2棟 ※高齢者対応 テントサイト 3区画		
		
馬見山キャンプ村	交流施設(自然)	嘉穂エリア
開設日時 7月1日～9月30日 ログハウス 7棟（5人用～20人用） バーベキュー棟 1棟 テントサイト 1区画		
		
稲築公園（桜）	公園	稲築エリア
毎年4月にさくらまつりが行われる桜の名所。		
梅林公園（梅）	公園	山田エリア
大法白馬山のふもとに広がる「梅林公園」。1,000本もの梅が咲き乱れる県内有数の観梅スポットとなっている。園内は、段々畑のようなユニークな形をしている。見頃の2月中旬～3月中旬で毎年3月の第1日曜日には観梅会も行われ、たくさんの梅見客でにぎわう。		
		
益富城址自然公園	公園	嘉穂エリア
益富城址を囲む自然公園		
梅林公園観梅会（3月）	交流イベント	山田エリア
およそ1,000本の梅が咲き誇る嘉麻市梅林公園で行われる催し。2月中旬から3月中旬にかけての観梅期には売店も出て多くの観光客で賑わう。3月の第1日曜日に開かれる観梅会では式典のほか野点のサービスや踊りなどが催される。		
さくらまつり（4月）	交流イベント	稲築エリア
桜の名所・稲築公園で行われる桜まつり。 特設ステージを中心に、のど自慢大会、地元芸能、大道芸などでにぎわう。 会場には、野立てや模擬店も出て、花見気分を盛り立ててくれる。		
		
八反田・川のぼりイカダレース（5月）	交流イベント	
毎年5月に、遠賀川支流の嘉麻川で開催。江戸時代の年貢米運搬の拠点が会場近くにあったことにちなんで開かれるようになったイベントである。出場資格は高校生以上で、多くの参加者でにぎわう。		
		

遊人の杜 CUP（5月）	交流イベント	
古処山キャンプ村「遊人の杜」で開催されるマウンテンバイクレースイベント。 レースには、2時間耐久や年齢など体力に応じた競技種目があり、毎年たくさんの人が参加している。		
かほナイトハイク（8月）	交流イベント	
献鮭祭（12月）	交流イベント	
大隈の鮭神社で毎年12月13日に行われる祭。昔から遠賀川をさかのぼる鮭がいて、それを海神の使いとしたもので、その年に川でとれた鮭を境内の鮭塚に納める。 古くは、貝原益軒の筑前国続風土記の中に登場する。		

（2）生産的資源

カッホー馬古屏	直販施設	嘉穂エリア
“新鮮・安全・おいしい”商品を提供していくことをモットーに、地域で生産される農産物や加工品などの特産物を直販する施設。農産直売所のさきがけとしてオープンし、福岡市など都市圏からも来訪する嘉麻市の中でも集客力のあるスポット。		
道の駅うすい	直販施設	碓井エリア
フレッシュな農産品や玄界灘でとれた魚介類が揃っており、本場スペイン製の石釜で焼くこだわりのパン工房がある。		
山田活性化センター手づくりふるさと村	直販施設	山田エリア
地域住民が持ち寄った農作物をはじめとする特産品の展示即売所や、地元でとれた新鮮な材料から味噌・漬け物などを作る加工施設、そして陶芸体験の場を提供する伝承工作室などが一体になった複合スポット。		
フルーツ狩り（りんご・梨）	観光農園	
宮小路果樹組合の運営。もぎとりのシーズンは8～11月。		

りんご	農産物	
いちご	農産物	
トマト	農産物	
梨	農産物	
うすいせんべい	加工品・特産品	
嘉穂牛	加工品・特産品	
「西日本地元牛交雑種共進会」という品評会で金賞を獲った肉。一軒の若い酪農家が育てている希少価値の高いものであり、脂質のバランスが良く、焼いても柔らかく美味しく頂けるということで、好評である。		
梅干	加工品・特産品	
おからかりんとう	加工品・特産品	
かめ女のみそ（杜仲みそ）	加工品・特産品	
酒（酒蔵）	加工品・特産品	
銘酒をつくる大里酒造（黒田武士）・玉の井酒造（寒北斗）が昔のたたすまいのまま残っている。		
フルーツフェア（9月）	交流イベント	
毎年9月に宮小路果樹組合の各フルーツ販売店を会場に行われるイベント。		

（3）文化的資源

嘉穂ふるさと交流館	展示施設	嘉穂エリア	
生活用具や農具、益富城址出土の瓦類など埋蔵文化財資料を展示している。			
碓井郷土館	展示施設	碓井エリア	
碓井地域の歴史や伝統文化を常設展示、歴史コーナーには考古資料や荘園記録を今に伝える「奈良東大寺文書」（複製）などがある。			
碓井平和祈念館	展示施設	碓井エリア	
県内でも数少ない戦争関係資料のみを展示しており、資料の中には犬などの毛皮でつくられた防寒着があり、悲しい「犬の献納運動」を物語っている。			
山田郷土資料室	展示施設		山田エリア
埋蔵文化財や炭坑関係資料を整備展示。			

稲築文化ふれあい伝承館	展示施設	稲築エリア
豊前地方に広く分布している楽を紹介。2階には山野の楽の練習などに活用できる交流の場がある。		
稲築ふるさと資料室	展示施設	稲築エリア
住民センター3階に開設された資料室で沖出古墳等の埋蔵文化財資料や石炭資料、民俗資料などを展示公開。		
お菊大明神	文化財	碓井エリア
碓井郷土館のそばにある小さなお堂。その裏側に怪談で有名なお菊が身を投じたといわれる井戸が残っており、お菊大明神が祭られている。		
華文刺縫陣羽織	文化財	嘉穂エリア
豊臣秀吉から拝領の陣羽織。国指定重要文化財。天正15年（1587）、秋月城攻略に協力した大隈町民たちへの恩賞としてあ得られたもの。		
鮭神社	神社・仏閣	嘉穂エリア
献鮭祭は、大隈の鮭神社で毎年12月13日に行われる祭。昔から遠賀川をさかのぼる鮭がいて、それを海神の使いとしたもので、その年に川でとれた鮭を境内の鮭塚に納める。古くは、貝原益軒の筑前国続風土記の中に登場する。鮭神社は、全国でもここ1ヶ所にしかない。		
稲築八幡宮	神社・仏閣	稲築エリア
神功皇后が都に帰る途中、御座所として座られた稲束をこの地に埋め「稲築」と号し、社殿を建立したといわれる。		
白馬山景福安国寺	神社・仏閣	山田エリア
大法白馬山のふもとにある寺。境内には全国的にも珍しい灯籠型の「六地藏菩薩」や、地元・下山田出身で上方相撲の第11代横綱不知火光五郎の墓が、本堂内には足利尊氏が祈りをささげて九死に一生を得たと伝わる寺宝の白衣観音座像（県指定文化財）がある。		
麟翁寺	神社・仏閣	嘉穂エリア
益富城址	史跡	嘉穂エリア
豊臣秀吉にまつわる一夜城伝説が残る城址。現在や森林浴や野外観察のできる自然公園になっている。10月～11月には一夜城伝説にちなみ益富城址に築城される。		

沖出古墳	史跡	稲築エリア
県指定史跡。4世紀終り頃に築造された全長約68mの前方後円墳。		
山野の石像群（五百羅漢）	史跡	稲築エリア
県指定有形民俗文化財。約350体の石像群は鎌倉時代に妙道という人物が若八幡神社に奉納したものといわれている。		
石碑（万葉集・山上憶良）	史跡	稲築エリア
奈良時代にまとめられた万葉集の代表的な歌人。「嘉摩3部作」等の歌碑（石碑）がある。		
不知火光五郎の墓	史跡	山田エリア
大横綱であった不知火光五郎の墓。不知火光五郎は嘉麻市（旧：山田市）の出身で、江戸時代の終わり頃（1860年頃）の第11代横綱であった。華麗な横綱土俵入は江戸中の大評判であった。浮世絵にも描かれており不知火型土俵入りを考案したとも言われている。		
山野の楽	芸能	稲築エリア
県指定無形民俗文化財。寛元2年（1244）から始まり、750余年の伝統を誇る祭事。山野の若八幡神社境内で行われる。舞い手の装束が河童に似ていることから「河童祭り」とも呼ばれている。		
どんと焼き・鬼火たき（1月）	交流イベント	
飯田地蔵祭（7月）	交流イベント	
五穀神社の境内にあるお地蔵様のお祭で、毎年7月23、24日には商店街一帯に夜店が出て、町内が一番にぎわう。		
上臼井日吉神社のお神楽（1月・7月・10月・12月）	交流イベント	
		
まさめ相撲（8月）	交流イベント	
漆生に伝わる水神への奉納相撲。カッパと相撲を取ったという伝説が残っている。		

下臼井西盆綱引き（8月）	交流イベント	
市指定無形民俗文化財。下臼井西地区の人たちがフシカズラといワラで直径30センチぐらの大縄を作り、8月15日の夜に2手に分かれて引き合う。		
高瀬宮水神様奉納相撲（9月）	交流イベント	
西郷地区の西郷橋のたもとに小さな石のほこらの水神様がある。9月1日の祭りの際に奉納される。		
平山獅子舞（9月）	交流イベント	
市指定無形民俗文化財。平山地区の八幡宮境内で9月に行われる秋祭りに舞われる獅子舞。子供の太鼓打ちが行われる。		
かりがね納め	交流イベント	
かりがね納めは、芥田地区に古くから伝わる狂言。毎年9月13日に行われる水神祭に奉納されるもので、400年以上の歴史がある。内容は、泉流や大蔵流の「がんかりがね」とほぼ同じものである。しかし、登場人物などは東北で発見された「天正狂言本（てんしょうきょうげんぼん）」に近く、狂言がまとめられた江戸時代初期よりも古い形で残っている貴重なものである。		
一夜城まつり（10月）	交流イベント	
織田廣喜美術館	美術館	碓井エリア
郷土の出身で日本洋画界の重鎮として今も活躍をつづける織田広喜画伯の作品を常設展示している美術館。画歴を追って展示した部屋やさまざまな画材を使った作品などがある。		
嘉麻市山田図書館	文化施設	山田エリア
夢サイトかほ嘉穂図書館	文化施設	嘉穂エリア

（4）機能的資源

嘉穂総合運動公園	レジャー施設	嘉穂エリア
ふるさと交流館なつきの湯	レジャー施設	稲築エリア
露天風呂やサウナ・カラオケ設備を備えた視聴覚室、食堂などを備えている。		

サルビアパーク	レジャー施設	山田エリア
「健康」をテーマに、地域の人たちに文化とスポーツに親しんでもらおうと平成5年にオープンした施設。館内では、オーケストラの演奏にも最適な防音壁が備わった体育館をはじめ、卓球場、トレーニングルーム、温水プールなど様々なスポーツを楽しめるほか、体育館をアリーナとして利用した演劇やコンサートなど文化的なイベントも数多く開催されている。		
スイミングプラザなつき	レジャー施設	稲築エリア
稲築屋内球技場	レジャー施設	稲築エリア
スポーツプラザ	レジャー施設	稲築エリア
楽しく走ろうふくおか子ども駅伝 in 嘉麻	交流イベント	
けやきまつり（5月）	交流イベント	
トロッコフェスタ（10月）	交流イベント	
昭和63年に廃線になった上山田線を利用したイベント。線路を利用したイベントは全国でも珍しく、毎年、多くの人で賑わっている。		
かかしまつり（10月）	交流イベント	
嘉麻シティーマラソン（11月）	交流イベント	
嘉麻ふれあいまつり（11月）	交流イベント	
市内の各種団体により構成された実行委員会により開催される嘉麻市の秋のイベント。		

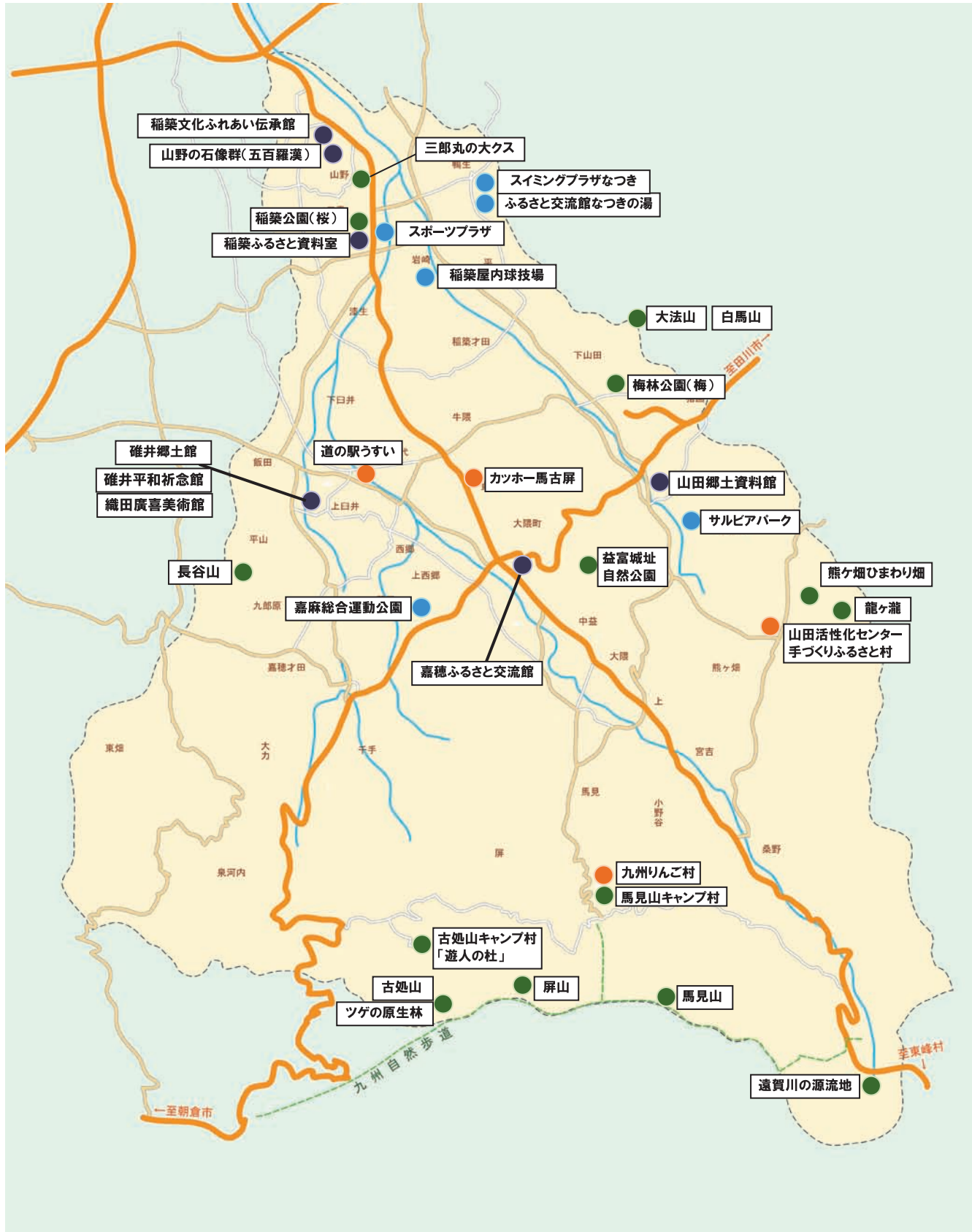
（5）人的資源（団体）

遠賀川源流の森づくり推進会議	活動団体	
嘉麻市まちづくり研究会	活動団体	
NPO 法人水土里農えにし	活動団体	
一夜城築城ボランティアの会	活動団体	
環境を考える会	活動団体	
稲築ガイドボランティア「いしくしろ」	活動団体	
元気にさかせ隊	活動団体	

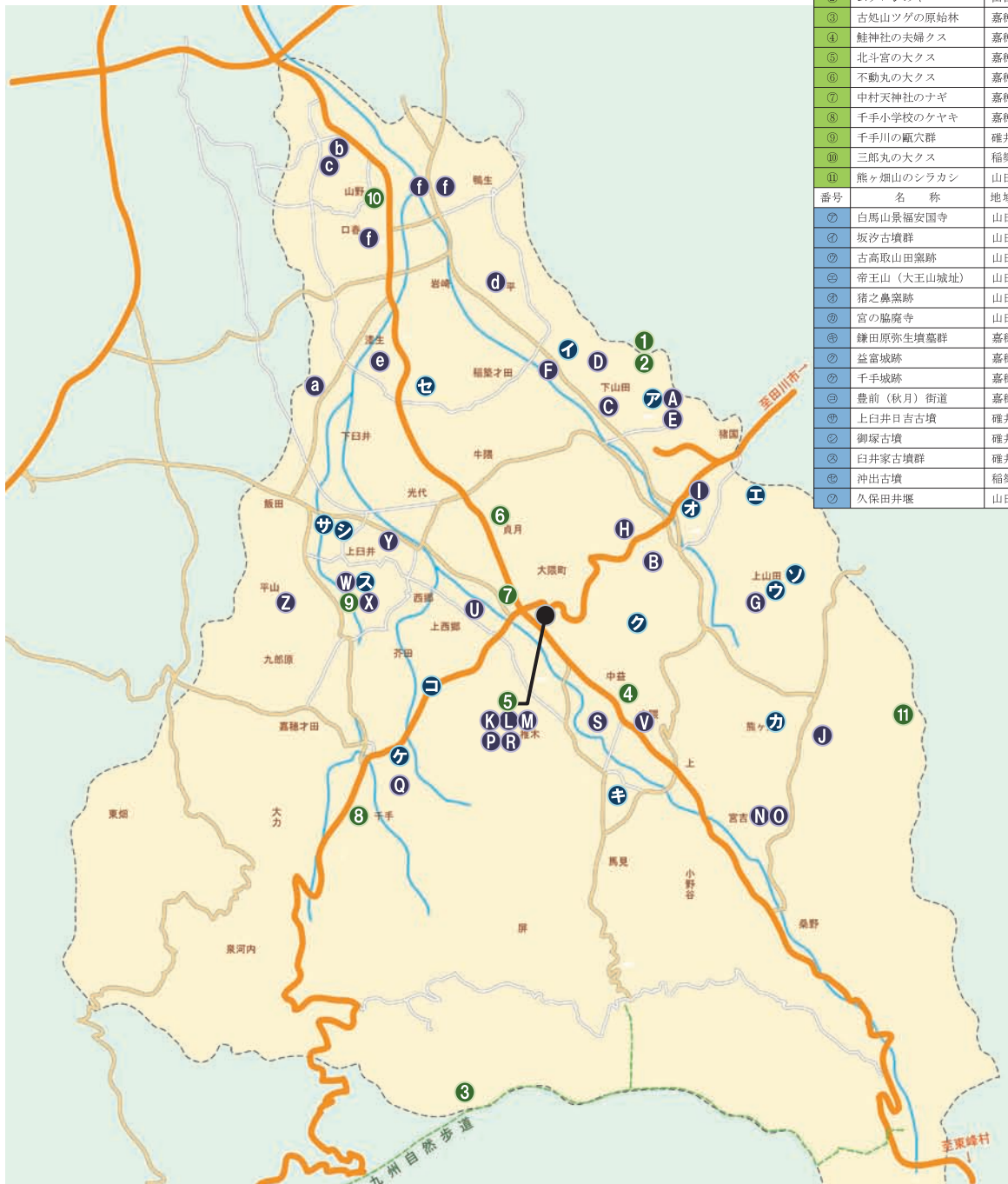
※上記に示す活動団体は観光振興に関連する主な団体としてあげています

地域資源マップ

【● 自然的資源 ● 生產的資源 ● 文化的資源 ● 機能的資源】



天然記念物・史跡・文化財・有形民俗



番号	名 称	地域	備 考
①	白馬山のバクチノキ	山田	県指定 天然記念物
②	ムクロジのキ	山田	市指定 天然記念物
③	古処山ツグの原始林	嘉徳	国指定 特別天然記念物
④	鮭神社の夫婦クス	嘉徳	市指定 天然記念物
⑤	北斗宮の大クス	嘉徳	市指定 天然記念物
⑥	不動丸の大クス	嘉徳	市指定 天然記念物
⑦	中村天神社のナギ	嘉徳	市指定 天然記念物
⑧	千手小学校のケヤキ	嘉徳	市指定 天然記念物
⑨	千手川の蕨穴群	碓井	県指定 天然記念物
⑩	三郎丸の大クス	稲築	市指定 天然記念物
⑪	熊ヶ畑山のシラカシ	山田	市指定 天然記念物
番号	名 称	地域	備 考
㉞	白馬山景福安国寺	山田	
㉟	坂沙古墳群	山田	
㊱	古高取山田築跡	山田	
㊲	帝王山（大王山城址）	山田	
㊳	猪之鼻築跡	山田	
㊴	宮の脇庵寺	山田	
㊵	鎌田原弥生墳墓群	嘉徳	県指定史跡
㊶	益富城跡	嘉徳	
㊷	千手城跡	嘉徳	
㊸	豊前（秋月）街道	嘉徳	
㊹	上臼井日吉古墳	碓井	
㊺	御塚古墳	碓井	
㊻	白井家古墳群	碓井	
㊼	沖出古墳	稲築	県指定史跡
㊽	久保田井堰	山田	

番号	名 称	地 域	備 考
㊾	木造白衣観音坐像	山田	県指定有形文化財
㊿	高取焼茶碗	山田	市指定有形文化財
㋀	門前寺六地藏菩薩	山田	市指定有形文化財
㋁	聖トマス石像	山田	市指定有形民俗文化財
㋂	不知火光五郎の旧墓碑	山田	
㋃	板塔婆	山田	
㋄	大庭源太夫夫妻の墓	山田	
㋅	為朝岩	山田	
㋆	国境石	山田	
㋇	萬年山長教寺	山田	
㋈	華文刺繍陣羽織	嘉徳	国指定 重要文化財
㋉	原田遺跡出土品一括	嘉徳	県指定 有形文化財
㋊	鎌田原弥生墳墓出土品一括	嘉徳	県指定 有形文化財
㋋	木造薬師如来坐像及び十二神将像	嘉徳	市指定有形文化財
㋌	木造如来形立像	嘉徳	市指定有形文化財
㋍	木造如意輪観音	嘉徳	市指定有形文化財
㋎	長慶様（宝篋印塔）	嘉徳	

番号	名 称	地 域	備 考
㋏	浅野・森連署	嘉徳	
㋐	浄円寺の龍の天井画	嘉徳	
㋑	母里（毛利）太兵衛墓所（麟翁寺）	嘉徳	
㋒	かりがね納	嘉徳	
㋓	献鮭祭（鮭神社）	嘉徳	
㋔	五穀神社出土唐草文方格規矩四神鏡	碓井	市指定有形文化財
㋕	お菊大明神（皿屋敷跡）	碓井	
㋖	須藤大明神	碓井	
㋗	平山の獅子舞	碓井	市指定 無形民俗文化財
㋘	下臼井西の盆綱	碓井	市指定 無形民俗文化財
㋙	山野の楽	稲築	県指定 無形民俗文化財
㋚	山野の石像群	稲築	県指定 有形民俗文化財
㋛	石造三重塔（附 阿弥陀如来石仏、十一面観音石仏）	稲築	県指定 有形文化財
㋜	漆生用水記念碑	稲築	
㋝	山上億良の万葉歌碑	稲築	町内10基

2

主要観光資源の評価

市内の主要観光資源の実地調査、市民アンケート、来訪者アンケートなどを踏まえた観光の現状について整理します。

(1) 分野別評価

分 野	評 価
自然的資源	・ 遠賀川の源流地という他地域にはない特徴的な資源優位性をもっている。 ・ 馬見山、屏山、古処山など豊かな山並みを有しているほか、各地域に田舎らしさのある農村の原風景を残している。 ・ 稲築公園のさくらまつりや梅林公園の観梅会など既存の行事に加え、熊ヶ畑のひまわり畑にみられるように花を活かした新たな交流拠点づくりが進められており、今後の交流資源としてのさらなる展開が望まれる。 ・ 遠賀川源流の森づくり推進会議にみられるような住民活動による流域における自然環境の保全、自然資源を活かした交流活動が展開されている。 ・ 遊人の杜CUPやかほナイトハイクなど様々な自然を活かした交流イベントが実施されている。古処山キャンプ村「遊人の杜」、馬見山キャンプ村といったアウトドア拠点は今後の自然を活かした体験交流の拠点として活性化が期待される。
生産的資源	・ 農産物の産直販売施設であるカッホー馬古屏と道の駅うすいは地域の新鮮な農産物を購入できる拠点として市外から多くの来客が訪れる嘉麻市の観光交流の中核をなしている。 ・ 県内では珍しいリンゴの産地であり、宮小路果樹組合によるフルーツ狩りは市内の有数の交流拠点となっている。 ・ 地域の特産品としては、嘉穂牛やうすいせんべい、おからかりんとう等があげられるがメディアを通じて全国的な知名度が高まった特産品が少ない状況にあり、新たな商品の発掘や開発とブランド化の推進が必要である。 ・ 市民が市外の人に紹介したい飲食店は少なく、観光活性化において食の魅力創出が急務となっている。 ・ 大里酒造や玉の井酒造など伝統的な酒蔵として、その景観を含め交流資源としての価値は高い。
文化的資源	・ 益富城址は豊臣秀吉にまつわる一夜城伝説が残る城址として、10～11月には築城イベントが行われるなどストーリー性のある文化資源であり、情報の発信・PRを工夫することによって来訪者増加の可能性はある。

	・ 古代から中世、近代にわたる様々な時代の歴史資源が各地域に点在しており、旧市町村単位に歴史資料に関する展示施設を有していることから、これらの施設を交流拠点として有効活用した展開が求められる。
機能的資源 (交流イベント・交流施設)	・ シティーマラソンや子ども駅伝大会といったスポーツをテーマとしたイベントが定期開催されており、こうしたテーマ・分野に特化したイベントを広げることで地域の特徴をより効果的に訴求できる可能性がある。 ・ トロッコフェスタやふれあいまつり、一夜城まつりなどの交流イベントについては情報の発信・PRを工夫することで誘客効果を高めていく必要がある。 ・ 本市は観光客が滞留し、消費するために必要である宿泊施設、飲食施設が乏しく、情報発信による交流拡大と並行した滞留・消費できる観光拠点の環境づくりが望まれる。

(2) ターゲット別評価

中高年層 夫婦、グループ	・ 歴史文化資源や寺社、農産物直販、花木観賞など、ニーズの高い資源は豊富にありますが、情報発信・PRによる誘客が十分でない。 ・ 公共交通をはじめとしたアクセスの確保、土産物販売や飲食機会の提供による魅力づけが必要である。
親子・ファミリー	・ 子ども、ファミリー層へのニーズの高い自然観察や農業体験など、既存の自然資源を生かした観光への展開が期待される。 ・ 機会の拡大が期待される通学合宿等の学校旅行に対する受け皿を整えていくことも今後の交流拡大に必要である。
女性	・ 梅、桜、ひまわりなど、四季を通じた花木を活かした交流機会があり一層の活用が期待される。一方、女性の観光意欲の向上に重要な食の魅力発掘・創出が求められる。
若者	・ 若者にとって魅力を感じる資源が少ないのが現状であり、ターゲットとして訴求を図る場合、イベントなどで若者を惹き付ける仕掛けをつくり、参加を促していくことが重要と考えられる。

(3) 観光まちづくりの評価

観光資源全般	・本市の観光資源は多種多様なものがあるが、資源ひとつひとつのもつ魅力・イメージで観光を展開していく訴求力の高さはない。そのため、観光資源をいかにマーケットに対応した手法で情報発信、PR をしていくかが鍵になると考えられる。
観光イメージ・ブランド	・旧市町のイメージが残っているものの、新しい嘉麻市のイメージができあがっていない点が課題であり、市全体の新しい観光イメージを構築し、いかに浸透させていくかが重要と考える。
マーケット	・観光マーケットとしては、福岡と北九州の両都市圏からアクセスできる利便性を有効に活かし、両都市圏をマーケットとした近隣地域から立ち寄る交流の流れ（導線）をつくりだすことが重要と考える。 ・合併により市民の域内交流への意識は高いと思われるが、現状ではまだ市内交流は端緒についたばかりであると言え、地元マーケットに対しても地域のよさを知ってもらい観光行動を起こしてもらうことも重要な視点と考える。
担い手・人材	・本市は、旧市町の時期から観光振興に対する積極的な取り組みがなされてなく、観光事業者も少なく、観光協会のような組織的な動きもないのが現状である。今後、本市の魅力である農村の原風景を体験観光や食、特産品等で演出する観光振興を進めていく上では、観光に携わる団体だけでない様々な団体・人材を活用していくことが必要であり、何より市民レベルでの観光振興による意識づけと多様な参加促進が重要である。

(4) 総合評価

本市の観光における優位資源は自然や農産物を中心としたふるさとを感じる農村の魅力にあり、特に県を代表する河川である遠賀川の源流を有することが、新鮮な自然・農村の豊かさを演出させる重要な要素となっている。

こうした自然や農村空間の魅力を演出し、田舎らしさのある暮らしや時間を体感できる観光を実践することは、福岡・北九州の両都市圏の都市住民にとっての癒しの時間を提供できる要素をもっている。特に、昔の原風景を原体験している高齢者層や自然の中での遊び、体験へのニーズの高いファミリー層が訴求ターゲットになるものと考ええる。

しかし、現段階においては、上記に掲げる観光振興を全市的に実践していくための人材・団体が乏しく、市民の観光に対する意識づけも含めた関連する様々な団体の横断的な連携と地域が一体となって観光を推進していくための母体づくりが望まれるところである。

3 アンケート調査

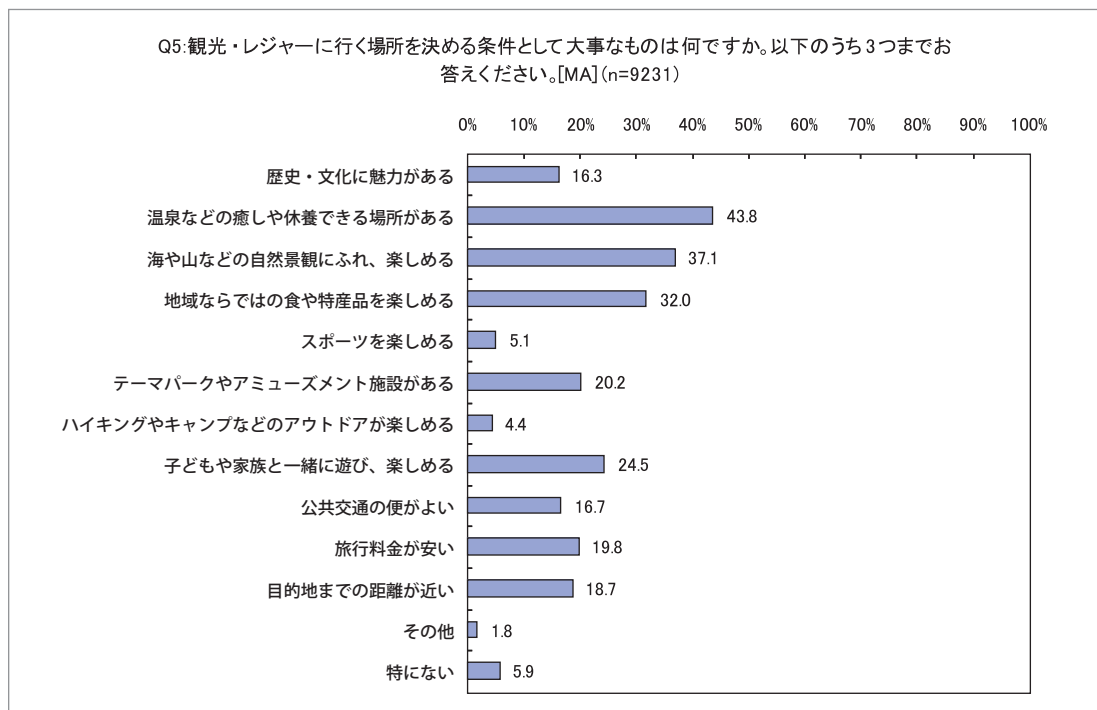
(1) インターネットアンケート調査（1次）

□ 調査概要

- **調査目的**：潜在的な顧客エリアとなる福岡市・北九州市都市圏住民の観光消費の特性及び嘉麻エリアに対する関心領域・認知領域、潜在需要を測定し、観光需要面からみた地域資源の可能性を分析する
- **調査方法**：インターネットによる調査
- **調査対象**：福岡市・北九州都市圏住民
- **調査依頼数**：10,000件
- **総回収数**：9,231件
- **実施期間**：平成21年10月6日～13日

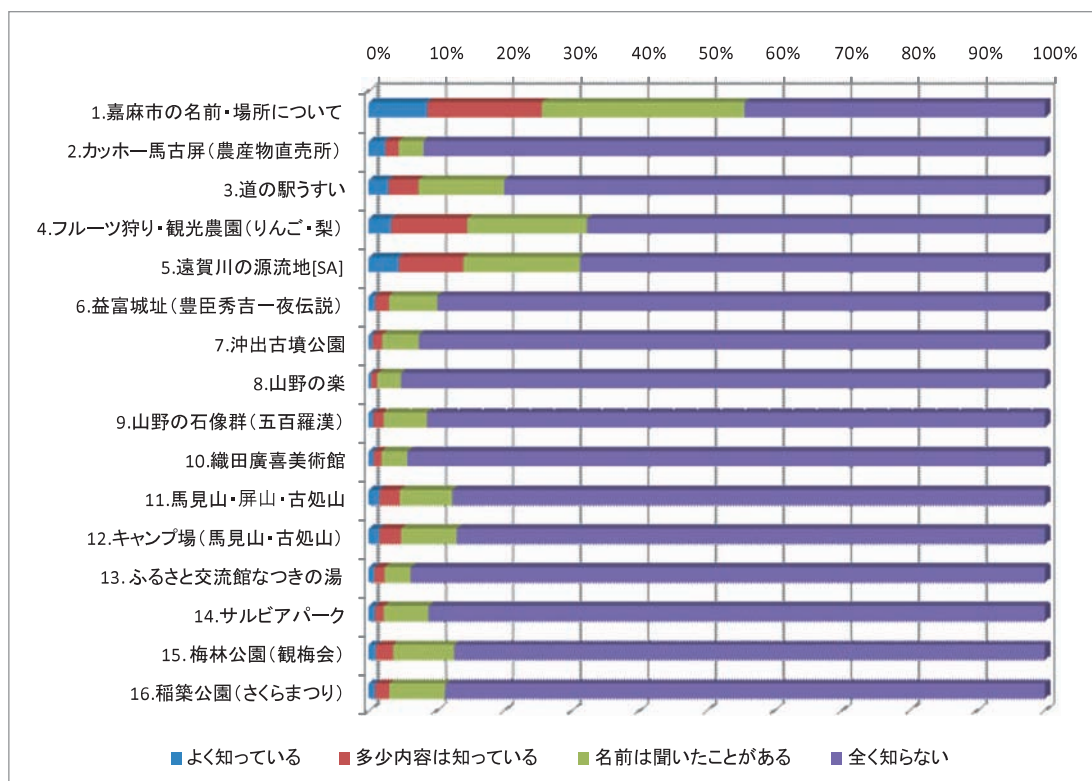
□ 調査結果概要

1) 観光・レジャーに行く場所を決める条件



- 「温泉などの癒しや休養できる場所がある」（43.8%）が最も多く、以下「海や山などの自然景観にふれ、楽しめる」（37.1%）、「地域ならではの食や特産品を楽しめる」（32.0%）の順となっている。年代別・性別にも同様の傾向であったが10代で「旅行料金が安い」ことが高く、60代以上では「歴史・文化に魅力がある」が高い傾向となっている。

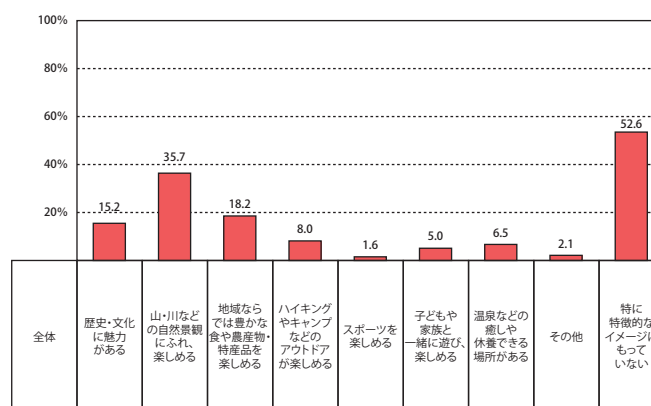
2) 嘉麻市及び嘉麻市の観光の認知度



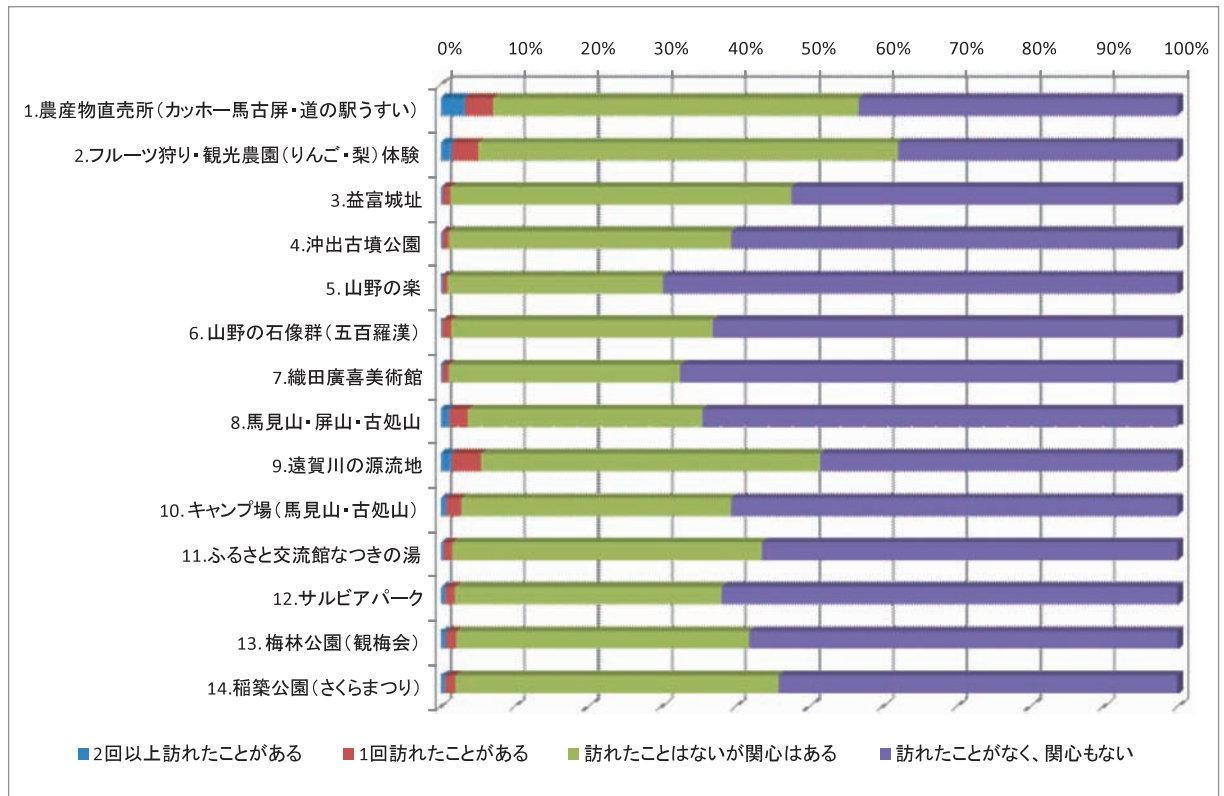
- 嘉麻市の地名について、「全く知らない」とする回答者が44%となっている。
- その他の観光資源についても、全てで85%以上の回答者が「全く知らない」と回答しており、福岡市・北九州市都市圏の住民には観光資源の認知度がかなり低いことがわかる。

3) 嘉麻市の観光イメージ

- 「特に特徴的なイメージはもっていない」(52.6%)が最も多く、以下「山・川などの自然景観にふれ、楽しめる」(35.7%)、「地域ならではの豊かな食や農産物・特産品を楽しめる」(18.2%)の順となっている。



4) 嘉麻市の観光に対する来訪意向



- 訪れたことがある回答者はいずれの観光資源についても10%以下となっている。
- 訪問意向率（訪れたことがある＋訪れたことはないが関心がある）が50%以上となったのは「農産物直売所」「フルーツ狩り」「遠賀川の源流地」となっており、観光イメージと同様に嘉麻市の自然や農に対する関心が高い傾向が伺われる。

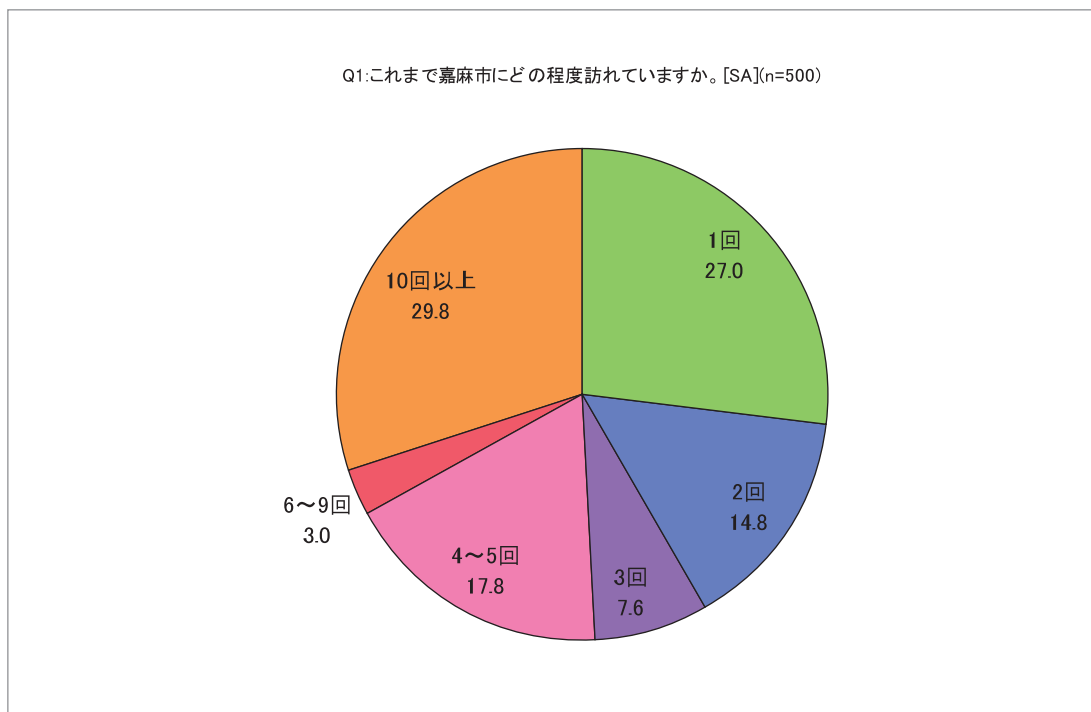
(2) インターネットアンケート調査結果（2次）

□ 調査概要

- **調査目的**：潜在的な顧客エリアとなる福岡市・北九州市都市圏住民の観光消費の特性及び嘉麻エリアに対する関心領域・認知領域、潜在需要を測定し、観光需要面からみた地域資源の可能性を分析する
- **調査方法**：インターネットによる調査
- **調査対象**：1次調査から以下の内容から対象者を500サンプル抽出
 - ①メインターゲットである「60代以上」「50代」から嘉麻市の観光に対する来訪機会のある人、関心の高い層を250サンプル抽出
 - ②「60代以上」「50代」以外の男女のうち嘉麻市観光資源を「よく知っている」「訪れたことがある」層を250サンプル抽出
- **調査依頼数**：800件
- **総回収数**：500件
- **実施期間**：平成21年11月20日～28日

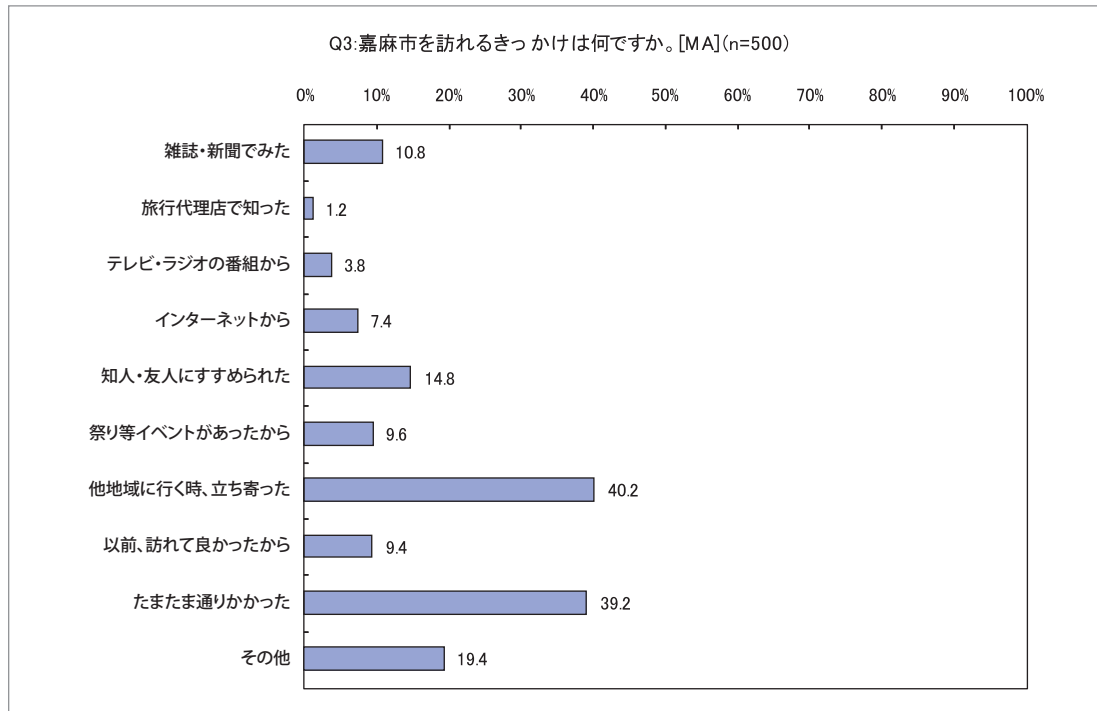
□ 調査結果概要

1) 嘉麻市への来訪機会

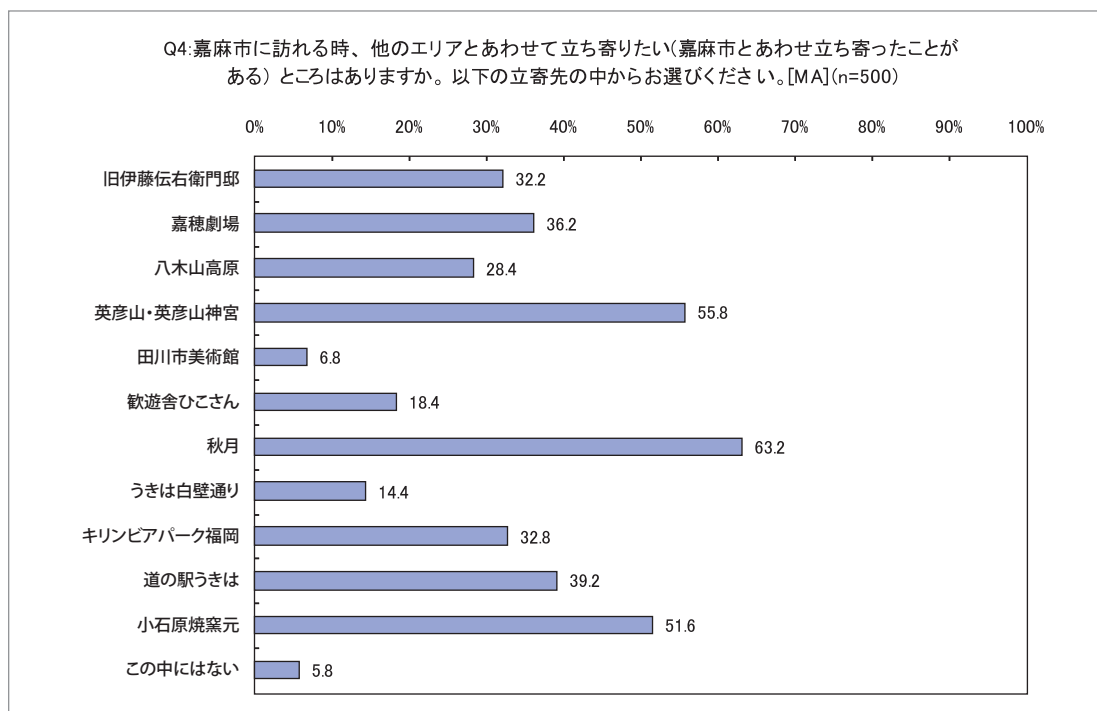


- 「10回以上」訪れている回答者が29.8%と最も多く、次いで「1回」が27.0%となっている。

2) 嘉麻市を訪れるきっかけ

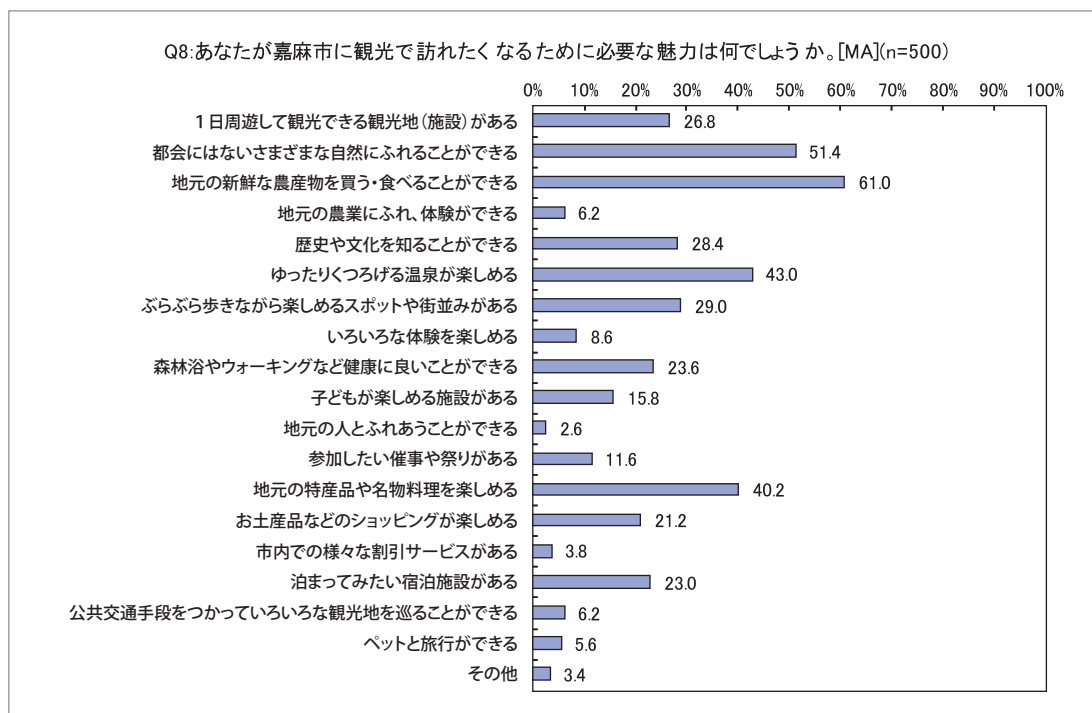


●「他地域に行く時、立ち寄った（40.2%）」「たまたま通りかかった（39.2%）」が多い。

3) 嘉麻市を訪れる時、他のエリアとあわせて立ち寄りたい
(嘉麻市とあわせ立ち寄ったことがある) ところ

●立ち寄り先として、多くあげられたのは「秋月」「英彦山・英彦山神宮」「小石原焼窯元」。

4) 嘉麻市に観光で訪れたいくなるために必要な魅力



- 「地元の新鮮な農産物を買う・食べることができる」「都会にはないさまざまな自然にふれることができる」が上位となり、自然・農産物が嘉麻市の魅力としてとらえる傾向が強い。

5) これまで嘉麻市に訪れて良かった観光スポットなど（自由記述）

- 農産物直売施設 24件
- フルーツ狩り 21件
- 古処山・馬見山・キャンプ場 16件
- 自然 15件
- 遠賀川 10件
- 花 7件
- 歴史・文化財 7件
- サルビアパーク・なつきの湯 6件
- 酒造 4件
- 美術館 4件
- 石田プリン 3件
- イベント 2件
- 嘉穂牛 2件
- 市外の観光地 58件

6) 嘉麻市が観光地として魅力を高めていくため、今後取り組んだらよいと思うこと
(自由記述)

●PR活動（PR不足である）・情報発信・イメージアップ 79件

- ・もっとPRをしていく。どんな観光スポットがあるかあまり知れ渡っていないと思う。
- ・TVの情報番組などに積極的に露出して、うきはなどのようにドライブがてらいきとなるように広報したらよいと思う。
- ・まずは嘉麻市の知名度アップ、福岡に住んでいる私でも最近までどこどこが合併してできた市かは知らなかった。
- ・嘉穂牛についてもメディアの報道で知った。もっと、メディア等を使った、宣伝が必要ではないか？

●特産品等食ブランドの開発・産直の充実 41件

- ・道の駅等産直販売の拡充。
- ・御当地スイーツの開発。
- ・地元で取れた新鮮農畜産物の販売・食事のできるとことがあれば、北九州・福岡から手ごろな日帰り観光地としてよいと思う。
- ・地元の人々と交流しながら農業体験などができればいい。

●交通・案内環境 32件

- ・交通の利便性がもう少し充実してほしいと思います。バスも出ていますがそんなに本数もなくあまり観光できませんでした。
- ・マップや標識の整備。案内板の設置。
- ・もう少しバスなど便利がよいといいかも。もしくは土日祝限定などで観光スポットを巡るバスを運行するとかよいと思います。

●施設等資源の充実 20件

- ・もう少し温泉地を増やす。宿泊施設を増やす。
- ・オートキャンプなどで福岡市や北九州市などの近隣から安い費用で行けるような施設。
- ・安くて良い宿泊施設を作ること。源じいの森のような。
- ・果物狩りが出来る場所のまわりに、その果物を使ったものが食べられるおしゃれなカフェなどがあればいいと思う。
- ・児童遊戯施設を中心とした憩いのスポット造り。

●温泉施設の充実 19件

- ・温泉宿泊施設の充実ちいさい子供と楽しめる施設の整備。

●このままで良い（自然のまま残してほしい） 13件

- ・下手にハコモノを造らずに今ある自然と農地を活かして少し長くのんびりできる癒しスポットを目指してみてもいいでしょうか。

●核となる（独自の特色を出した）観光拠点づくり 9件

●イベントの充実 8件

●自然を活かした観光資源の開発・自然のアピール 7件

●歴史文化財の充実 6件

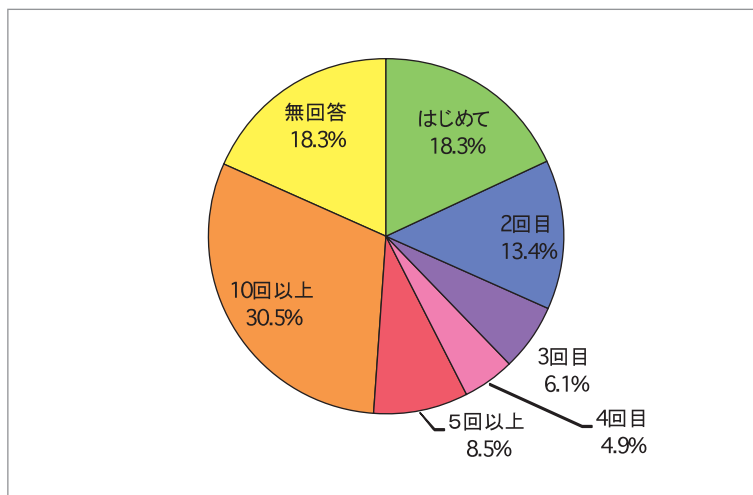
(3) 市内観光施設アンケート調査

□ 調査概要

- **調査目的**：主要観光スポットでのアンケート調査により来訪者の観光動態を把握分析する。
- **調査方法**：観光施設（カッホー馬古塀／道の駅うすい／宮小路果樹組合）の来訪者に対するアンケート記入
- **総回収数**：82 件
- **実施期間**：平成21年10月～11月

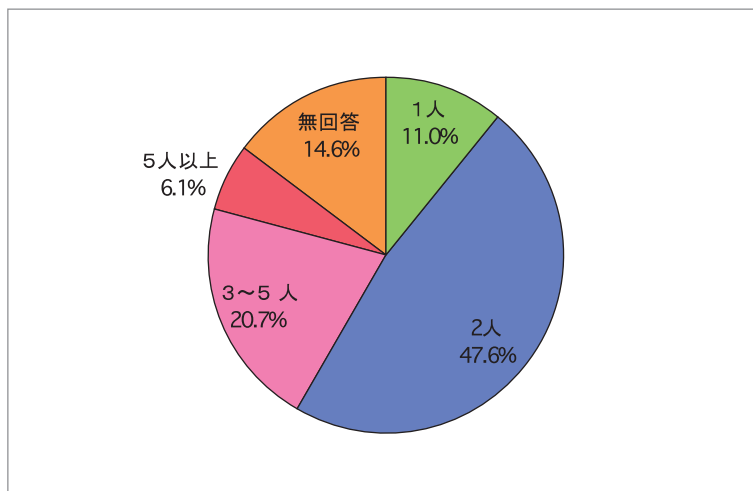
□ 調査結果概要

1) 嘉麻市への来訪回数



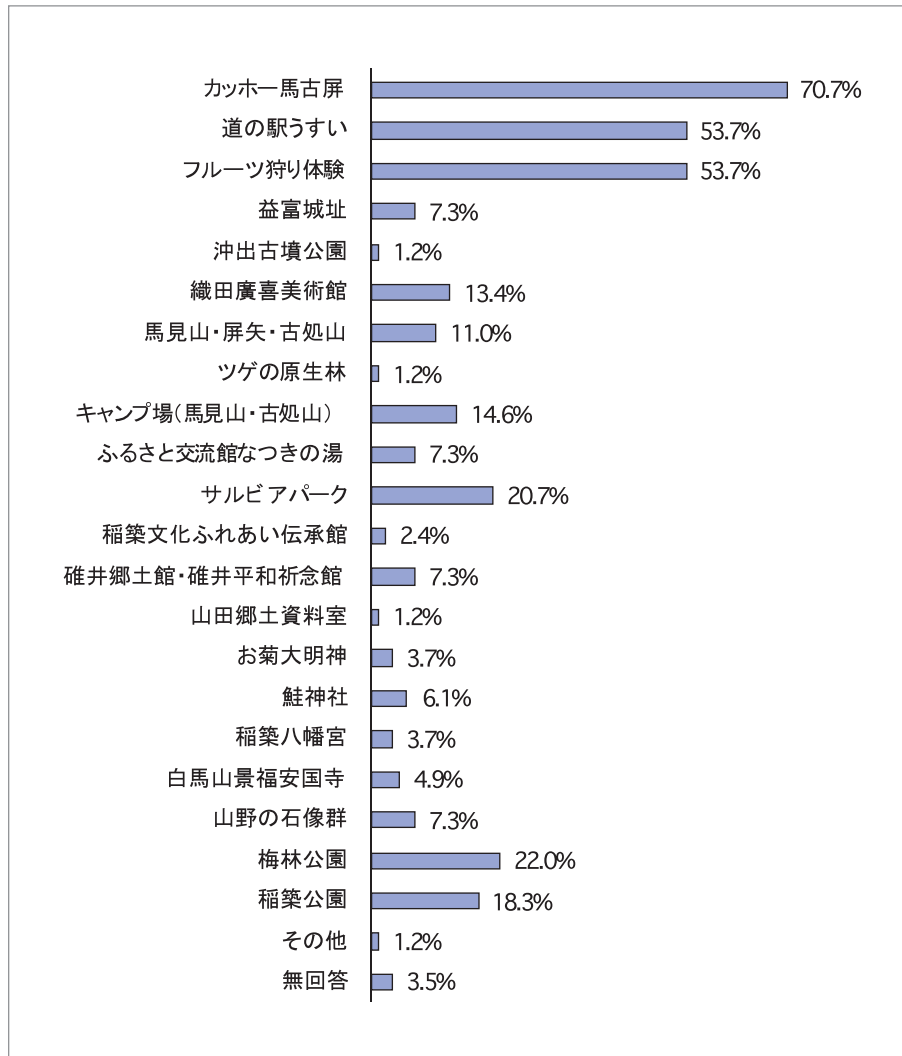
- 10回以上来訪している回答者が30.5%と最も多い。はじめて来訪した人は18.3%

2) 今回の来訪の人数



- 「2人」での来訪者が47.6%と約半数、次いで「3～5人」が20.7%となっている。

3) 嘉麻市で立ち寄ったことのある場所



- 来訪した施設の傾向にあわせ、立ち寄ったことのある場所は農産物直売施設、フルーツ狩り体験が50%を超えている。このほか、梅林公園、サルビアパーク、稲築公園の回答傾向が高い。歴史遺産・神社等については来訪経験が少ない。

前項までの様々な整理や把握事項等から嘉麻市の観光振興において特に必要とされる課題について以下のようにまとめています。

1

観光(交流)を実践していく意識と魅力づくりの必要性

(1) 市全体で観光振興に取り組むための市民の意識改革と観光リーダー育成の必要がある

嘉麻市全域における観光振興を進めるためには、今以上に市全体の一体感のある取組みが求められます。そのためには、嘉麻市の観光振興の目的、ブランドイメージを市全体で共有し、目的達成に取り組むための市及び市民の意識改革が必要となります。

また、今後、観光振興を持続的に進めていく上で、新しい発想と活力に富んだ若者の力が欠かせません。活気に満ちたまちづくりを図るためにも、地域振興のリーダーを含めて、次世代の観光の担い手の確保と育成が求められます。

(2) 嘉麻市が観光目的地となる魅力をさらに検証していく必要がある

アンケート調査では、嘉麻市に来訪経験のある方、ない方ともに歴史遺産よりも農産物直売所や観光農園や遠賀川の源流といった農産物や自然に関心が高い結果となっており、この点を嘉麻市の観光地としての可能性をもつ魅力であることがわかりました。

今回の調査結果をもとに、嘉麻市に訪れたいと思う観光目的地となるために必要なブランドイメージは何か、他にはないオンリーワンの魅力は何か、改めて地域の有する資源を再検証と掘り起こしを行い、魅力を高めていくために必要な環境づくりを検証していく必要があります。

嘉麻市のブランドイメージを構築していくにあたっては、市を構成する旧1市3町が一体となった統一した観光イメージの確立に向けた検討が求められます。

(3) 嘉麻市の認知促進、観光地としての話題喚起の必要がある

嘉麻市の観光振興を進めていく上で、最大の課題は、嘉麻市に対する知名度及び観光イメージが極めて不足している点にあります。嘉麻市自体の認知促進を含め、観光地として話題を喚起するための取組みを積極的に進めることが第一に必要となります。

2

観光需要を高めていく他地域と差別化できる 機能(商品・サービス)づくりの必要性

(1) 地域資源を有効に活用し、観光ニーズにあった商品づくりを進める必要がある

近年の旅行スタイルは団体型から個人型に移行し、観光ニーズが多様化しています。単なる観光スポットの見学から、目的を持った旅行形態に移行し、訪れた土地の文化や歴史、食、伝統芸能、自然景観を肌で感じ、地元住民との触れ合いを楽しむ本物志向が強まっています。

こうした観光需要の動向をふまえ、豊かな農山村資源や自然資源、産業資源を有効に活用したアグリツーリズムやグリーンツーリズム、エコツーリズム、産業観光といった、知的好奇心や学習意欲を満足させるような体験型観光を充実させるなど、地域資源を有効に活用し、観光ニーズをとらえた観光商品づくりを進めていく必要があります。

観光ニーズをとらえた観光商品づくりを進めていくためには、周辺地域の観光動向調査やターゲットとなる消費者の観光ニーズ調査等のマーケティング調査を徹底し、具体的な商品に対する観光ニーズを精査していくことが必要となります。

(2) 市外の観光地との連携した広域観光商品による誘客を促進する必要がある

観光の魅力を拡大し、集客力を高めるためには、市内にある観光資源だけに着目するのではなく、市外からの来訪者を視野に入れ、周辺に立地する観光資源との連携や共生する広域観光を推進する必要があります。

特に、周辺都市で立ち寄り先として、有力とされる秋月・朝倉方面、飯塚方面、英彦山方面との連携を意識した観光商品のシナリオ・モデルルートづくりを模索する必要があります。

(3) 来訪者への観光情報の提供・発信を効果的かつ組織的に行う必要がある

観光需要を高めていくためには、来訪者が情報を得る機会をより幅広く提供していくことが求められます。そのためには、観光情報のマスメディア等を活用した効果的な情報発信（PR）と来訪者が必要とする観光情報を入手できる観光マップ等の情報提供手段を整えることが必要となります。

特に、情報化社会の進展にともないITを使った、より高度な情報発信技術の応用が期待されています。即時に情報を全国に発信できるホームページ充実は不可欠であると言えます。

また、本市を訪問する観光客の多くは自動車を交通手段とします。幹線道路の整備は比較的進んでいるものの、来訪者の視点に立った適切なサイン表示は少なく、観光地へのアクセス情報などについても適切に提供できているとはいえません。

交通・観光案内サインの系統的な整備、観光情報等の提供を進めることによって、わかりやすくスムーズな移動環境づくりを行う必要があります。

3

持続した観光振興を推進していくための 基盤づくりの必要性

(1) 観光振興による産業活性化に向けた行政・企業・市民の連携を図る必要がある

嘉麻市の観光振興のめざす成果は、観光（交流）拡大による地域産業の活性化にあります。特に、農林産物との連携による観光産業の活性化は市の総合計画にも掲げるまちづくりの主要なテーマであると言えます。

嘉麻市への来訪者の消費意欲を喚起させていく魅力ある観光商品（食・特産品・サービス）の開発に向け、行政・企業・市民のみんなで連携を図りながら取り組んでいく必要があります。

(2) 市民のホスピタリティ（おもてなし）の醸成

観光魅力を高めるには、市民のホスピタリティ（おもてなし）の向上が鍵になります。そのためには、市民自身が嘉麻市の観光の魅力を知り、愛着や誇りを持つ必要があります。また、ホスピタリティ（おもてなし）溢れる行動が無理なく自然に出てくるようにするためには、市民のやりがいや生きがいにつながるようなものにしていく仕組みをつくる必要があります。

(3) 生活融合型の観光まちづくりの推進

「市民にとって住みやすいまちづくりを進めていくことは、観光客に対しても快適で気持ちよい環境の提供にもつながる」という考え方が大切です。

トイレ等の整備、景観向上や住環境改善等に向けた取り組みの充実など、市民の暮らしの満足度の向上という視点を入れた観光まちづくりを進めていく必要があります。

また、自家用車だけに頼らない移動手段の確保（公共交通の整備等）やバリアフリー対応の施設整備、さらにはユニバーサルデザイン思想に基づく観光地づくりを進めていく必要があります。

1

基本方針

嘉麻市の観光振興の課題に対応するために、目指すべきガイドラインとして、以下に示す3つのテーマと9つの施策からなる基本方針を設定します。

嘉麻市観光振興基本計画の基本方針

テーマ1 「嘉麻市の知名度向上と観光を実践する魅力と意識づくり」

方針1 観光まちづくり、観光交流活動に対する市民意識の醸成

方針2 観光目的地となる嘉麻市のブランドイメージの構築

方針3 嘉麻市話題を喚起する

テーマ2 「観光需要を呼び起こす、差別化できる商品・サービスづくり」

方針4 来訪ニーズにあった観光商品・サービスづくり

方針5 周辺市町村との連携による広域観光商品づくり

方針6 来訪者に届く観光情報の発信・提供

テーマ3 「観光を持続させていくための基盤づくり」

方針7 観光需要に対する供給システム（産業化）づくり

方針8 市民のおもてなしの心づくり

方針9 市民生活と連動した観光まちづくりの推進

2

目標指標

本計画における観光振興の達成を図るためには目標指標を示す実効性を高めていくことが必要となります。具体的な指標については事業を推進する段階に精査していくものではありませんが、参考として、前項に記載された基本方針の3つのテーマごとの行動目標とこれらの最終目標としての成果目標を以下のように設定します。

<テーマ別行動目標>

テーマ1「嘉麻市の知名度向上と観光を実践する魅力と意識づくり」

行動目標 嘉麻市のブランドイメージの確立

(指標) 嘉麻市観光ブランドイメージ(ストーリー・キャッチフレーズ・デザイン)の完成

テーマ2「観光需要を呼び起こす、差別化できる商品・サービスづくり」

行動目標 嘉麻版ツーリズムの開発

自然・農村資源を活かした新たな体験観光プログラムを旅行商品として確立する。

(指標) 実践できる嘉麻版体験観光プログラム数 10プログラム

ステップ3「観光を持続させていくための基盤づくり」

行動目標 市民・行政が連携した観光推進組織の確立

観光振興を実践し、産業(消費)につなげる推進組織を確立する。

(指標) 市民と行政の中間支援組織となる観光まちづくり組織の設立

<成果目標>

◎嘉麻市の観光認知度の向上

指標: インターネットアンケート調査による嘉麻市の認知率

(今回調査) 53.8% (よく知っている+多少知っていると回答した率)

(目標値) 90.0%

◎嘉麻市の観光まちづくりのめざすすがたの達成

- ①訪れた人が、嘉麻市が誇る自然や農村資源を体感し、感動する
- ②特産品やサービスの事業化により観光で働く場が増える
- ③観光まちづくりの推進により、観光客にとって楽しいだけでなく、市民にとっても暮らしやすいまちづくりを進める

3

計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市内の観光に係る諸活動についての情報を一元化したり、関係者等の相互連携について検討も必要であり、そのためには、行政と地域にたち、事業運営に必要な多様な主体の連携を柔軟にコーディネートできる公益性をもった中間支援組織が求められます。そこで、関係機関や団体、行政等で、下記のような「(仮称) 嘉麻観光まちづくり会議」を組織し、意見交換や情報交換を始め、諸施策を改めて実行する意志を持って点検し、推進するものとします。

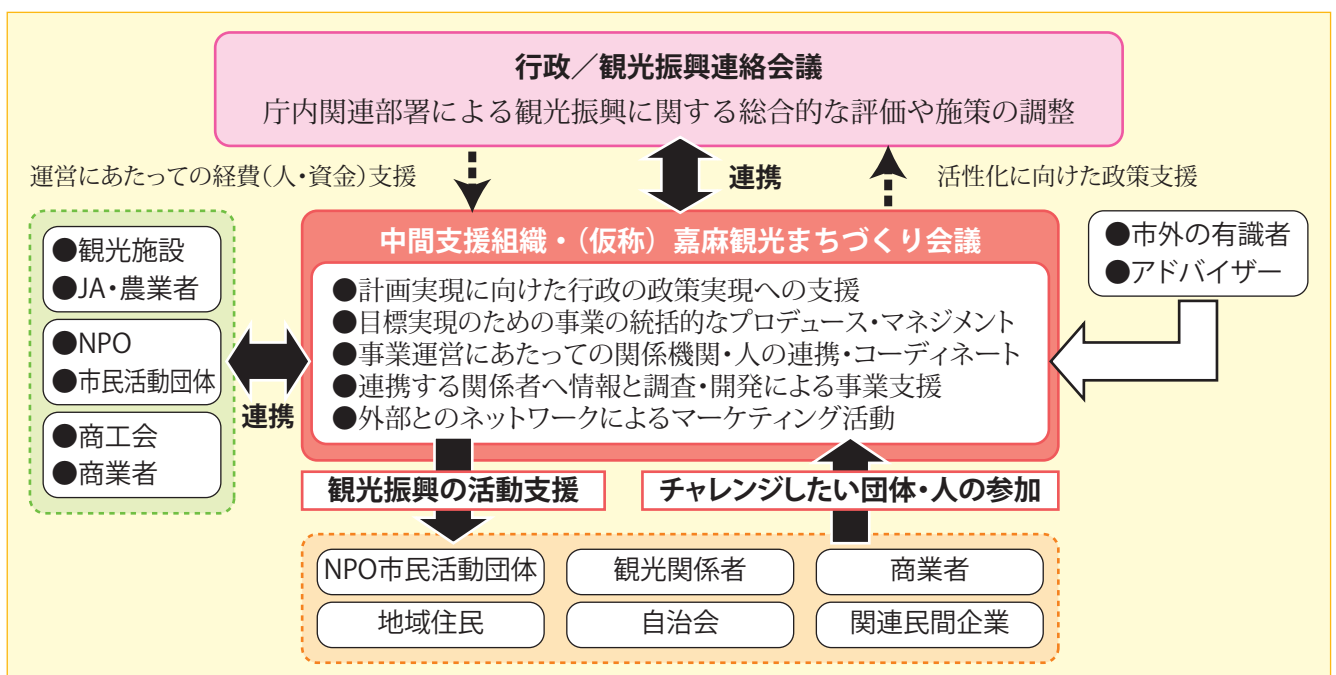
<事業展開に求められる組織>

- ①観光振興の推進に向けて多様な主体の連携・コーディネートできる組織
- ②事業推進に必要な情報収集発信・人材育成・商品開発等を支援する組織
- ③外部からの専門家や学識者とのネットワークにより、実効性のある事業運営をアドバイスできる組織

- ・行政では、個別の民間の経済活動を支援できない。
- ・民間では、公益的な機能を継続的に実施できる人材・資金がない。

行政と地域の間になって様々な活動を支援する
公益性をもった中間支援組織の必要性

<中間支援組織の役割 (案)>



4 観光振興展開プラン

(1) 基本方針に対応した観光振興展開（案）

基本方針	展開(案)
方針1 観光まちづくり、観光交流活動に対する市民意識の醸成	●観光振興に関する市民理解の促進（市民向け観光ツ ●イベント等による市民交流の促進 ●体験学習・郷土学習による市の歴史文化・自然を学ぶ機
方針2 観光目的地となる嘉麻市のブランドイメージの構築	●観光ブランドに関するマーケティング調査 ●観光資源の再評価 ●ブランドイメージ(ストーリー・キャッチフレーズ・デザイ
方針3 嘉麻市の話題を喚起する	●P R効果の高い話題づくりイベントの企画・開催 ●メディアタイアップによる番組取材誘致 ●広告キャンペーンの実施
方針4 来訪ニーズにあった観光商品・サービスづくり	●観光サービスに関するマーケティング調査(モニタリン ●地域資源を活かした嘉麻版ツーリズムの開発 ●地域資源を活かした特産品・食メニューの開発 ●学校教育と連動した通学合宿メニュー開発
方針5 周辺市町村との連携による広域観光商品づくり	●広域間における観光振興の検討 ●地域のテーマ性のあるモデルルートの開発 ●共同イベント・プロモーションの開催 ●旅行業者へのツアー誘致に向けた営業活動
方針6 来訪者に届く観光情報の発信・提供	●観光案内機能の一元化(ホームページ・情報窓口開設等) ●道の駅、直売施設等の観光情報発信(ビジターセンター) ●メディアとのコミュニケーション強化(メディアツアー等 ●標識・案内板、マップの設置
方針7 観光需要に対する供給システム(産業化)づくり	●農商工連携による特産品の生産・販売体制の強化 ●体験メニューのインストラクター人材の育成
方針8 市民のおもてなしの心づくり	●観光人材の育成(研修)・組織化(人材バンクによる登録) ●ボランティア組織の観光への活用 ●声かけ・あいさつ運動推進などによるおもてなしの心醸成
方針9 市民生活と連動した観光まちづくりの推進	●インターネット環境の改善 ●市民農園・クラインガルテン(滞在型市民農園)の整備 ●自然等の環境保全・清掃活動の推進 ●公共施設(観光施設)のバリアフリー化

	優先順位 (◎＝重点項目)			実施主体			
	短期	中期	長期	観光まちづくり 会議(仮称)	行政	企業・団体	市民
アーの実施等)	◎				◎	○	
	○	○			○	◎	○
会の充実	○	○			○	◎	○
	○			○	◎	○	
	○			○	◎	○	○
ン)の確立	◎			○	◎	○	○
	◎			◎	○	○	○
	○	○		◎	○	○	
	○	○		◎	○	○	
グ調査等)	○			◎	○		
	○	◎		◎		○	○
	○	◎		◎		○	○
	○	○		◎	○	○	○
	○			○	◎		
		◎		○	◎		
		○	○	◎	○	○	
		○	○	◎	○	○	
	◎			◎	○		
機能の強化 の実施)	○	◎		○		◎	
		○	○	◎	○		
	◎	○	○	○	◎		
		○	◎	◎		○	○
		○	○	◎	○	○	○
		○	○		◎	○	○
		○	◎		◎		
		○	○		◎	○	○
	◎	○			○	○	◎
			○		◎		

(2) 具体的な観光振興方策の検討 <提案>

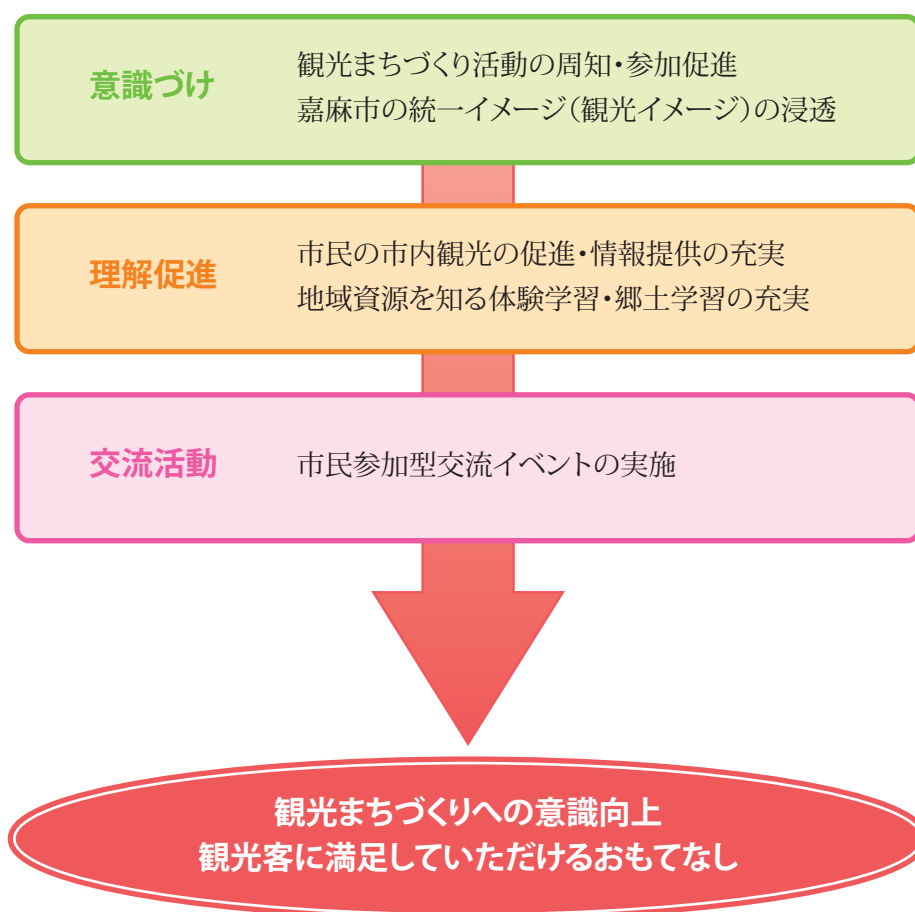
①観光まちづくり、観光交流活動に対する市民意識の醸成

【計画での該当箇所（P.31 参照）：基本方針 1】

本市を観光のまちとして認識している市民は決して多くない中で、観光まちづくりを進めるためにはまず市民の理解を深めていく必要がある。

また、観光まちづくりを進めるうえで重要なのは、行政や商工会・JA、そして観光施設の管理者、農業者、サービス業・飲食業などの商工業者などが集客や交流を促す重要な役割を担っている。加えて、観光客に満足してもらえる温かいおもてなしを提供するためには、観光ボランティアはもちろん、地域での清掃活動などの市民活動、観光客と市民の交流なども大切であり、市民一体となった観光客の受け入れ気運を高めていく必要がある。

このように、各事業者や市民などが、観光に対する理解を深め、さまざまな形で関わっていけるよう、観光まちづくりへの意識向上を狙いとした取り組みを展開する。



- ②嘉麻市の話題を喚起する：P R効果の高い話題づくりイベントの企画・開催
【計画での該当箇所（P.31 参照）：基本方針3】

■TV・新聞メディアへのパブリシティ（取材誘致）を狙いとしたPRイベントの実施

嘉麻市の知名度向上と観光地としての魅力を訴求させる即効性のあるPR手段はTVや新聞への露出である。特に報道や記事による露出は広告露出と異なる客観的なニュースとして消費者に情報伝達されるため、信頼価値の高い情報として訴求効果が高い。

TV、新聞の取材誘致をねらいとし、ニュース性のある季節性・時節性・話題性等をふまえ、地域の特色をアピールしたPRイベントを実施する。

<地域資源を活かしたPRイベント>

TV・新聞のニュース素材となる要素

- (1)社会性（地域の問題・社会問題等）
- (2)ニュース性（話題・トレンド）
- (3)季節性・時節性
- (4)絵柄（インパクト・映像美）



地域らしさを表現する要素

- (1)自然（遠賀川（水）・雪・花）
- (2)田舎らしさ・農（野菜・米・田）
- (3)伝統文化・芸能



メディアへの露出機会をつくるPRイベント

●映像インパクトのあるイベント

（例：田んぼで泥リンピック／雪像・氷像まつり／1000人鍋／イルミネーション等）

●ネーミングで話題をつくるイベント（例：日本（福岡）一、日本初の〇〇〇等）

●その他

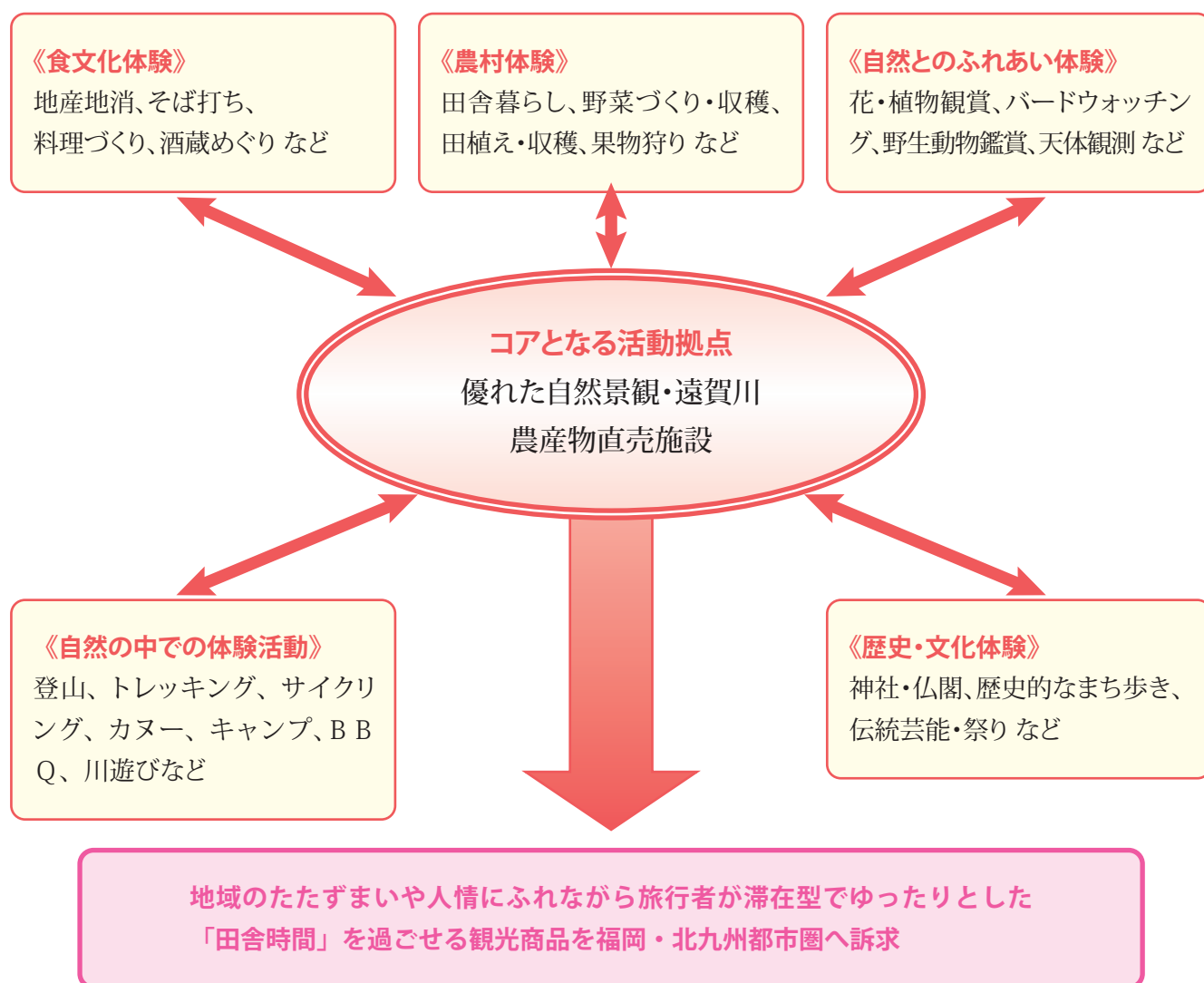
コンテスト・コンクール／「アイデア料理募集」「作文募集」「ネーミング募集」「デザイン募集」「シンボルマーク募集」「川柳募集」「〇〇親善大使」など。

- ③来訪ニーズにあった観光商品・サービスづくり：地域資源を活かした嘉麻版ツーリズムの開発【計画での該当箇所（P.31 参照）：基本方針4】

■嘉麻版スローツーリズムの開発

個人や小グループを中心に、嘉麻市の人々や自然とのふれあいなど、ゆっくりとした時間を過ごす滞在型の旅行形態として嘉麻版スローツーリズムを開発。

「環境（エコ）」「自然・農のあるふるさと空間」をテーマに訴求力のある自然・食資源・施設を「コアとなる活動拠点」に、地域の様々な観光資源を利用した体験商品をプログラム化し、地域のたたずまいや人情にふれながら旅行者が滞在型でゆったりとした「田舎時間」を過ごせる観光商品にする。



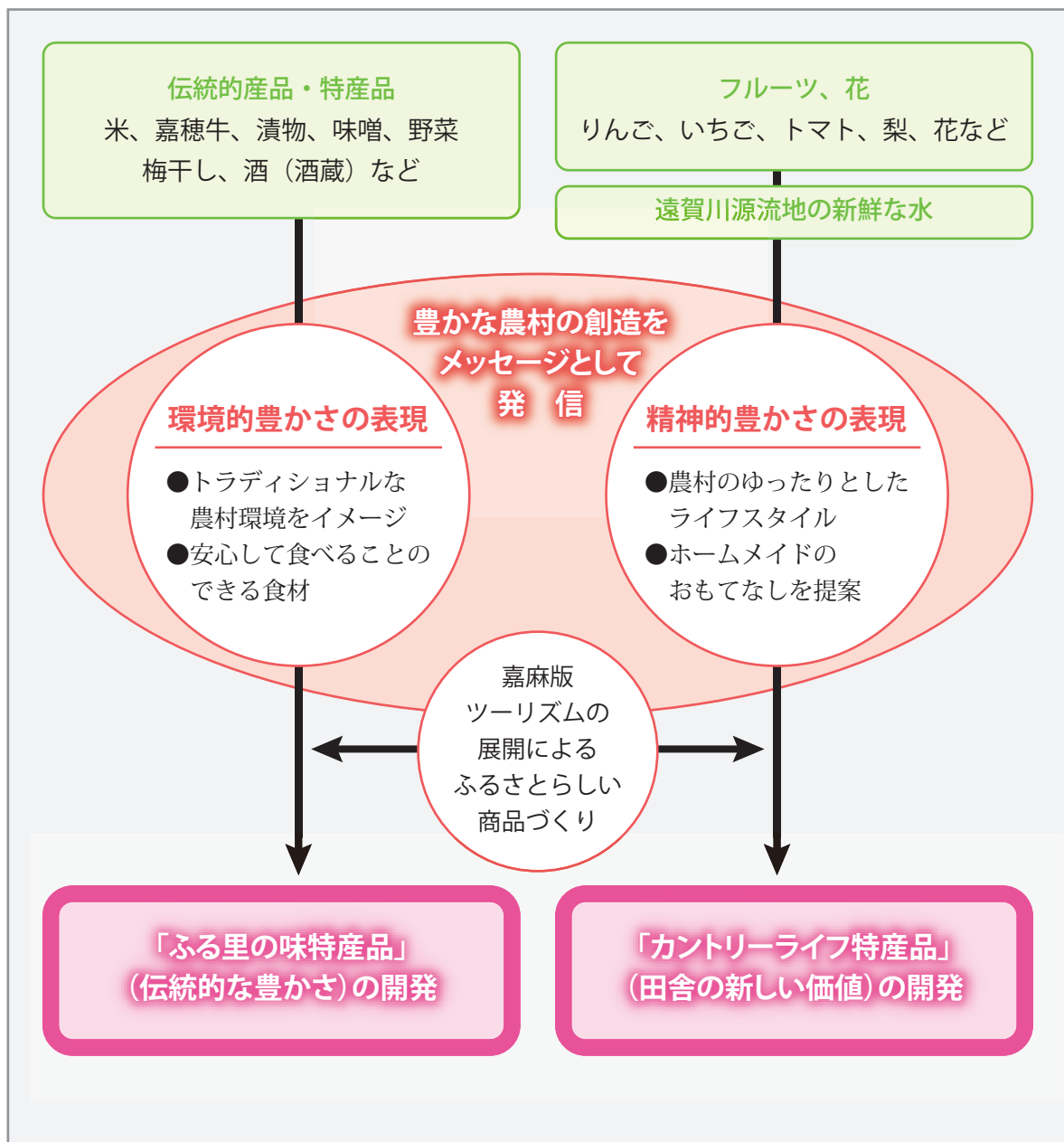
④観光需要に対する供給システム（産業化）づくり：農商工連携による特産品の生産・販売体制の強化【計画での該当箇所（P.31 参照）：基本方針7】

■ブランドイメージを訴求する特産品の開発

嘉麻市の観光資源の強みである農・食・豊かな自然を活かし、来訪客の消費につなげる観光産業づくりの一つとして、行政と市内企業・農業者等が連携し、新たな特産品の開発・生産を観光まちづくり会議（仮称）等が中心となり推進する。

伝統的な「ふる里」の豊かさを表現する特産品（ふる里の味特産品）と田舎の新しい価値観を表現する特産品（カントリーライフ特産品）の2つの方向性での特産品づくりを実施する。

<特産品開発の2つの方向性>



計画の実現に向けて

～まち・市民の元気づくり（活性化）につなげる観光振興を進めよう～

嘉麻市の豊かな自然・農村文化や歴史遺産は観光という視点だけでなく、地域に住む市民のみなさんにとっても貴重な財産であります。

これらの財産を観光資源として活かし、本計画で示す観光振興プランを実現していくことは、新たな観光交流の拡大による地域産業の活性化を図るだけでなく、嘉麻市に住む市民一人ひとりの嘉麻市に対する誇り・愛着を生む機会にもなると考えます。

観光振興に対して未成熟である嘉麻市にとって、本計画の各プランを推進するにあたっては、単純に観光振興という視点だけでは実現するための基盤をつくることは現状では困難であると言えます。本計画では、計画推進にあたっての体制づくりとして中間支援組織「観光まちづくり会議（仮称）」を示していますが、こうした推進組織を核に市民の地域づくりの視点に立った観光まちづくりの推進によって観光客にとって楽しいだけでなく、市民にとっても暮らしやすいまちづくりを進めることをめざしていくことが今後の計画実現の重要なカギになってくると考えます。

本計画が、観光によって来訪者だけでなく、まちや市民に新たな元気が生まれる観光まちづくりの礎となっていくことを期待しています。

<めざす3つの元気づくり（活性化）を生む観光まちづくり>

①訪れたひとが元気になるまちづくり

- 訪れた人が、嘉麻市が誇る自然や農村、歴史を体感し、感動するまち
- 嘉麻市民のおもてなしに癒され、「また嘉麻市に来たい」と思う人が増えるまち

②住むひとが元気になるまちづくり

- 観光に携わる人が自信を持って活動し、市民は自らが住む嘉麻市に愛着や誇りを持つようになり、いつまでも住み続けたいと思うまち
- 観光振興の取り組みを通じた交流により、合併した嘉麻市の市民がより一体となるまち

③まちが元気になるまちづくり

- 市民が観光振興やまちづくりに積極的に参加したいと思うようになるまち
- 観光客にとって楽しいだけでなく、市民にとっても暮らしやすいまち
- 「ひと」と「ひと」の交流が盛んなまち



資 料 編

Chapter of material

1

観光政策の動向（県・市）

（１）福岡県の動向 ＜現状の取組＞

①九州観光戦略の推進

○九州観光推進機構の設立

九州観光戦略の実行組織として、九州７県と民間が「人と資金」を拠出し、平成17年４月に「九州観光推進機構」を設立

○第１次観光戦略（2005～2007）の成果

- ・九州への入国外国人92万人（2007年）※2007年目標（74万人）をクリア

（主要事業）

- ・九州観光説明会の開催（ソウル、台北、上海等）
- ・中国、台湾の現地教育関係者・旅行企画会社の招聘による修学旅行誘致促進
- ・中国、韓国、香港のテレビ番組制作会社、雑誌社等の招聘による情報発信
- ・九州の宿泊者数4,300万人泊（2006年 前年比0.7%増）
※10年ぶりの増加（長期減少傾向に歯止め）

（主要事業）

- ・旅行会社向け説明会・相談会の実施（東名阪にて5・10月実施）
- ・鉄道会社、航空会社、旅行会社等とのタイアップキャンペーンの実施
- ・テーマ別広域観光モデルルート（うんちくの旅）計150ルートの開発

②福岡県の観光振興の推進

○新たな観光地づくり

九州新幹線全線開業を見越して、観光地づくりに向けた地域の取り組みを支援

- ・大川市（観光産業と木工基幹産業の相乗効果による産業観光）
- ・八女市（伝統的町並み・歴史資源・伝統的工芸品・自然といった地域資源を活用した広域の観光ルートづくり）
- ・川崎町（「自然、食、農、人材、文化」といった地域資源を利用したモニターツアー等を実施）
- ・香春町（「採銅所」や「香春岳」など、産業に関するスポットを活用したルート開発）

○九州国立博物館を核とした観光振興

九州国立博物館を大型観光資源と位置づけ、国内外からの誘客に活用

- ・平成19年度の入館者数139万人（東京国立博物館177万人、京都国立博物館49万人奈良国立博物館44万人）



九州国立博物館

○産業観光の推進

本県の多彩な産業集積を観光に活用し、周辺の観光資源とも連携させ、福岡県の観光の魅力を向上

- ・福岡県産業観光推進協議会の拡充（設立：平成18年8月、会員数：197団体）
※施設数：57施設（H18）→79施設（H20.9）
- ・産業観光促進キャンペーン「発見！体感！産業観光ふくおか」の実施
夏休み期間中（2ヶ月）に約39万人が施設に来場
- ・産業観光セミナー・施設見学研修会の開催
魅力的な見学プランの策定等企業の産業観光への取り組みを促進
- ・海外からの修学旅行誘致の推進
海外学校関係者の招聘、教育旅行促進セミナーへの参加、学校交流の斡旋



トヨタ自動車九州

○観光ボランティアガイドの育成、活用

観光スタイルの個人型、交流型への変化に対応するため、観光ボランティアガイドの育成、活用を推進

- ・福岡県観光ボランティアガイド連絡協議会の設立
（設立：H19年3月、加盟：26団体、768名）
- ・観光ボランティアガイド大会（研修大会）の実施
（H21年2月、福岡市内、参加150名）

各ボランティア団体の活動状況報告会、意見交換会等を実施し、ガイドのレベルアップと新たなボランティア団体の設立促進を図る。

○大型コンベンションの活用

福岡市、北九州市、久留米市の各コンベンションビューローと連携し、参加者のアフターコンベンションとして、県内各地への回遊を促進

- ・国際会議実績310件（H18年）
※福岡県は東京都751件、大阪府428件に次いで全国第3位の実績

○インターネットによる観光情報発信

観光ホームページ「クロスロードふくおか」（日本語版）のリニューアル

- ・H19年度月平均35万ページビュー
→ H20年度（4～8月）月平均50万ページビュー



＜今後の取組み＞

①第2次九州観光戦略（2008～2010）の展開

九州への入国外国人 100 万人、九州の宿泊者数 3 年間で 10% 増を目指す

- 入国外国人の約 9 割を占める韓国、中国、台湾等の重点地域を対象とした観光説明会の開催等、誘致活動を強化
- 新幹線全線開業に向け、J R グループとタイアップした九州デスティネーションキャンペーンや航空会社と連携した九州旅行キャンペーンの実施 など

②福岡プラスワン戦略の推進

- 地域資源活用型観光の推進
地域ならではの観光資源を活用した魅力ある旅行商品の開発・販売の促進
- 産業観光の推進
産業観光施設の拡充と魅力向上を更に推進
・産業観光セミナーの開催、産業観光促進キャンペーンの実施 など
- 観光ボランティアガイドの育成・活用
まちあるき観光コースの開発促進
- インターネットによる観光情報発信の強化
インターネット取引の拡大、外国語版観光ホームページの開設
- 九州新幹線全線開通に向けた観光客受入体制の整備
駅の案内板、道路標識、施設案内板等の観光案内板の整備

(2) 嘉麻市の動向

① 嘉麻市第1次総合計画

■ まちづくりの将来像

“母なる遠賀川源流の恵みに満ちた ふれあいと安心のまち”
遠賀川ハートフル嘉麻の里の創造

■ 土地利用構想

(1) 市街地ゾーン

- 既存の文化施設を核に、豊富な自然資源、歴史資源を踏まえた新たな文化機能の充実を図ります。

(2) 集落と農業の振興ゾーン

- 特産物のブランド化、体験農業、農産物直売所、観光農業、県との連携による新品種の開発研究など多様な農業の振興を推進します。

(3) 緑豊かな山林ゾーン

- 地形条件を活かした、特産品、農林産品などの推進を図ります。
- 自然体験が実感できる教育環境の整備を進めます。

■ 基本方針と施策の内容（総合計画から抜粋）

(1) 活力ある産業振興によるまちづくり

豊かな資源を輝かせる観光の振興

観光は、市内にある観光資源の活用、広域的連携による観光ルートの開発、観光拠点の整備、観光推進体制の強化などを図り、自然と歴史・文化にふれあえる魅力ある観光地づくりを推進します。

○ 主要施策

(1) 広域的観光ルートの整備

- ① 市外の観光施設やイベントなど一体となった広域観光拠点のネットワーク化と広域観光ルートの整備を図ります。
- ② 観光資源を結ぶ道路や駐車場の整備を図るなど基盤整備を含めたネットワーク化を推進します。

(2) 山間部を活用した滞在・体験型観光機能の充実

山間部のキャンプ場等と周辺施設との連携により都市とのふれあい交流を育むとともに、環境学習の場としても利用を促進し、滞在型・宿泊型の観光地化を図ります。

(3) 農林産物との連携による観光産業の活性化

特産品や土産品を製品化して販売したり、地元食材を使った郷土料理の創出など、観光と農林業の連携強化に努めます。

○ 活性化プロジェクト

(5) 嘉麻市イメージアッププロジェクト

市民に、本市のことを知ってもらい、さらに外部へ向けては本市のイメージアップのために、イベントなどの推進、特産物のブランド化と広域的な販路の開拓、本市の個性ある生活環境整備などの視点から、市民が自信と誇りのもてる施策・事業を推進します。

2 観光に関するトレンド

■全国規模で進む観光への注目とまちづくりへの取り組み

わが国においては、観光立国行動計画が策定され外国人に訪日を促す「ビジット・ジャパン・キャンペーン」が展開され、国内観光では神社仏閣や景勝地・温泉地などを巡る団体型のものから、グループや個人がそれぞれの関心やテーマを大切にする観光交流へと性格を強めています。そして同時に、地域が持つ固有の資源の活用、伝統文化等の掘り起こしや各自治体間での地域間競争が激しくなっている状況で、地域情報発信及び多様な交流の促進などの効果も見直されています。

そして全国の地域・市町村において、観光を地域づくり・まちづくりの戦略として、また、地域産業経済に波及効果の高い分野として位置づけ、積極的に振興が図られようとしています。

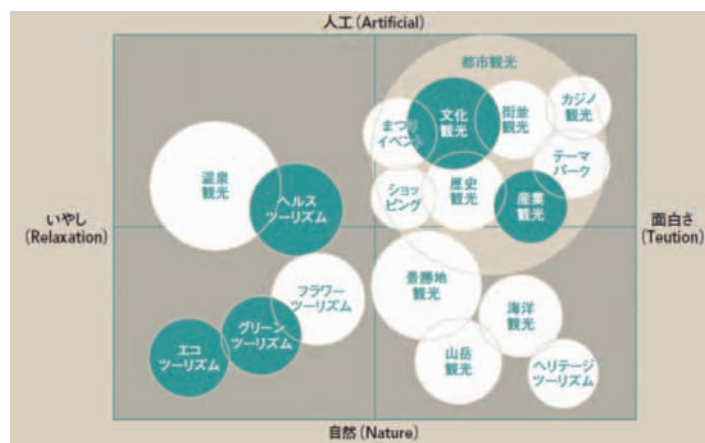
■観光指向の多様化、社会構造変化のなかで進む観光のありかたの見直し

現在、国民の観光・ツアー先は広く国内外に及んでいますが、行動形態においても団体から小グループ・個人へ、そして個々の関心・テーマの重視などから、どのような旅を求めるかについても多様なものとなっており、観光客の行動と受け入れ側の対応面において、構造的な変化が進んでいます。

特に、近年の観光動向は、団体型から個人・小グループ型に移行し、足早に観光地を通り過ぎる“金銭消費型”から、じっくりと訪れた土地の歴史や文化、食、住民との触れ合いを求める“時間消費型”の観光に変わりつつあり、グリーンツーリズム、エコツーリズム等の体験観光や産業遺産を巡る産業観光など観光サービスも増えてきています。

これまで観光地としての地位を築いてきた多くの地域で、観光客の減少や、にぎわいの衰えなどに直面する例が見られると共に、これら地域を含め、新しい視点から地域資源の再評価・見直し及び観光事業のあり方などについて検討し、観光振興の方針を再構築しようとする動きが生まれています。

これからの観光テーマ
三菱総合研究所資料



■ニューツーリズムによる観光地づくりの推進

近年の観光需要の多様化は著しく、長期滞在型観光、産業観光、ヘルスツーリズムといった新たな観光形態が広がりを見せており、これらを総称してニューツーリズムと呼ばれています。国土交通省は、平成19年度からニューツーリズム旅行商品の市場整備と商品の実現に向けて、実証実験の形で支援を計画しています。

<ニューツーリズムの例（観光立国推進基本計画）>

○産業観光

歴史的・文化的価値のある工場等やその遺構、機械器具、最先端の技術を備えた工場等を対象とした観光で、産業に関する施設や技術等の資源を用い、地域内外の人々の交流を図るものです。

○文化観光

日本の歴史、伝統といった文化的な要素に対する知的欲求を満たすことを目的とする観光です。

○グリーンツーリズム

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動であり、農作業体験や農産物加工体験、農林漁家民泊、さらには食育などがこれに当たります。

○エコツーリズム

自然環境や歴史文化を対象とし、それらを損なうことなく、それらを体験し学ぶ観光のあり方であり、地域の自然環境やそれと密接に関連する風俗慣習等の生活文化に係る資源を持続的に保全しつつ、新たな観光需要を掘り起こすことにより、地域の社会・経済の健全な発展に寄与し、ひいては環境と経済を持続的に両立させていくことにつながるものです。野生生物を観察するツアーや、植林や清掃など環境保全のために実際に貢献をするボランティア的ツアーなどが、これに当たります。

○ヘルスツーリズム

自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する新しい観光形態であり、医療に近いものからレジャーに近いものまで様々なものが含まれます。

■旅行業法の改正

旅行業法施行規則が平成19年3月12日に改正（施行は5月12日）され、第3種旅行業でも、条件付きで募集型企画旅行が実施できるようになりました。したがって、当地に所在する旅行業者が企画するパック旅行（募集型企画旅行）である「着地型旅行（注）」の推進が可能になりました。地元にとっても新しい観光素材を掘り起こし、都市部の旅行会社に提案する着地型が地域おこしにつながることを期待されています。

（注）着地型とは、これまでの旅行商品が都市部の旅行会社で企画・造成される「発地型」に対し、旅行目的地側主導で旅行商品の企画・開発を行うことを言います。

＜観光振興にむけた国の支援事業＞

■「観光圏整備」事業の推進

「観光圏による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」（観光圏整備法）が施行されました（平成20年7月23日）。観光圏整備法は、観光地が広域的に連携した「観光圏」の整備を行うことで、国内外の観光客が2泊3日以上滞在できるエリアの形成を目指しています。国際競争力の高い魅力ある観光地づくりを推進することで、地域の幅広い産業の活性化や交流人口の拡大による地域の発展を図るものです。

観光圏整備法では、自治体で作成する「観光圏整備計画」に沿って、民間など複数の事業主体が共同で、宿泊サービスの向上や観光資源を活用したサービスの開発などといった「観光圏整備事業」を行う場合、観光圏整備事業費補助金や旅行業法の特例、農山漁村活性化プロジェクト交付金などの制度で地域の取り組みへの支援を受けられることになっています。

■「まちナビ」事業

国土交通省では、平成18年度から観光客向けの情報発信体制の高度化を支援するために、公募による「まちめぐりナビプロジェクト（まちナビ）」を実施しています。支援金として1地域当たり約900万円を交付し、地域の観光や交通情報のデータベース化やデータを生かした情報システム作りなどを支援しています。

■「九州広域観光ルート支援モデル」事業

九州運輸局と九州地方整備局が九州独自の取り組みとして「九州広域観光ルート支援モデル」事業に取り組んでいます。モデル事業の対象は2地域と当該地域の広域観光ルートのテーマが求められます。また、事業の実施主体となる協議会の設立が条件となります。

■広域・総合観光集客サービス支援事業

経済産業省では、中小企業の観光・集客サービス化による高付加価値化を達成し、地域経済の活性化に貢献することを目的に地域・業種横断的な総合的取り組みを推進しています。特色ある地域の産業や工場、商店街、異業種等の幅広い事業者の連携など、観光・集客サービス分野において個別の事業者では対応が困難な立ち上がり期における共通基盤づくりに必要な事業が補助対象になります。

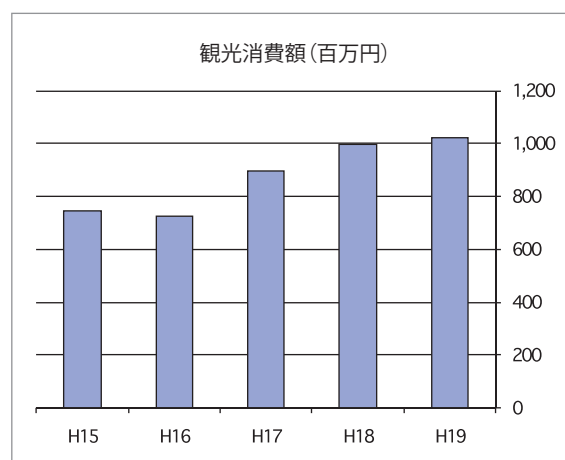
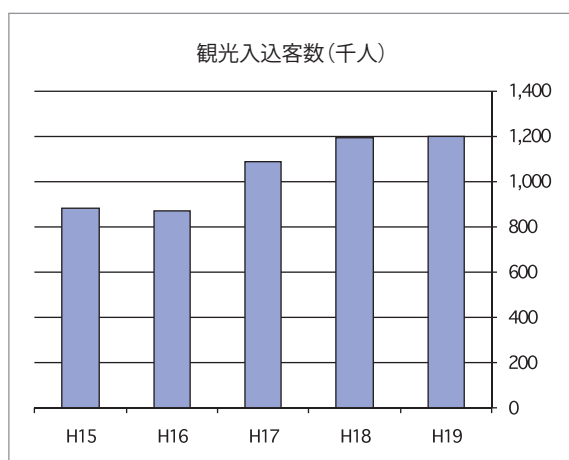
3

嘉麻市の観光動向

(1) 観光入込客・観光消費額

嘉麻市の観光入込客数は、平成19年には約119万人となっており、道の駅うすいが開駅した平成17年から100万人台を越え、微増傾向が続いています。

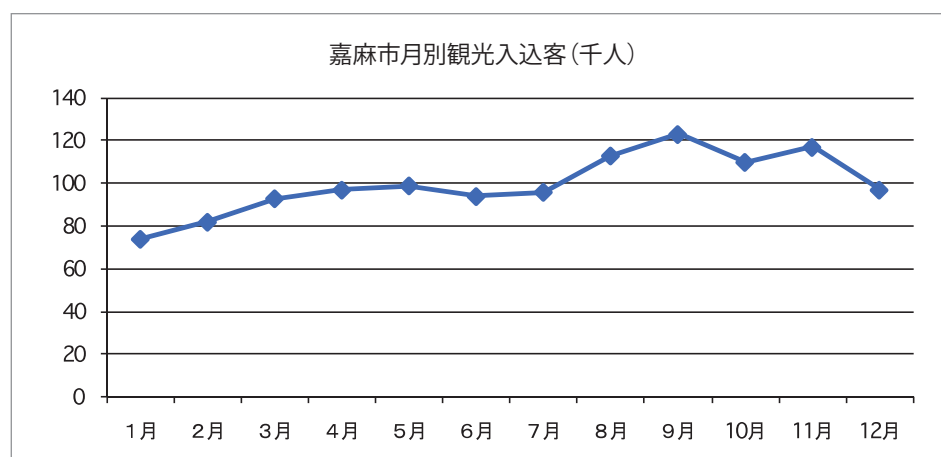
観光消費額も観光入込客と比例し、微増傾向にあり、平成19年には10億円を突破しています。



観光入込客、観光消費額の内訳をみると、県内からの日帰客がほとんどであり、宿泊利用者は極めて少ない状況にあります。また、月別の観光入込客数をみると8月からの夏季から9月～11月の秋季までのシーズンが比較的多い傾向にあります。

(千人・百万円)

	総数	日帰	宿泊	県外	県内	消費額
H19	1,195	1,192	3	0	1,195	1,021
H18	1,187	1,183	4	10	1,177	994
H17	1,086	1,081	5	10	1,076	892
H16	864	856	8	34	830	721
H15	879	872	7	37	842	744



(2) 主要観光施設別にみた観光動向

周辺エリアの観光動向を主要観光施設別にみると、カッホー馬古屏・道の駅「うすい」の2つの農産物直売施設が入込客数・観光消費額を大きな割合を占めていることがわかります。

施設名	H18利用者計	H19利用者計	年消費額
カッホー馬古屏	360,455	345,744	418,730,498
道の駅「うすい」	280,219	369,076	436,098,536
活性化センター手づくりふるさと村	15,940	18,363	15,210,304
ふるさと交流館なつきの湯	137,290	126,647	34,233,445
サルビアパーク	111,986	112,619	29,874,143
温水プールスイミングプラザなつき	85,951	94,503	22,212,920
織田廣喜美術館	12,733	6,312	278,500
文化ふれあい伝承館	607	344	-
古処山・馬見山キャンプ村	5,840	4,419	7,498,976
嘉穂総合体育館	39,377	35,075	2,267,030

(3) 周辺エリアの観光入込客・観光消費額との比較

嘉麻市の周辺エリアの観光動向と比較すると、圏域の中核エリアとして歴史的遺産も多い飯塚市、秋月等の歴史拠点と農産物販売拠点と観光スポットの多い朝倉市、英彦山を中心とした自然と農の観光拠点である添田町等の入込客数が高い。これらの3拠点には、県外からの入込客も多く、観光拠点としての情報発信力が嘉麻市と大きく異なります。

平成19年度

(千人・百万円)

	総数	日帰	宿泊	県外	県内	消費額
嘉麻市	1,195	1,192	3	0	1,195	1,021
飯塚市	2,447	2,146	301	432	2,015	6,643
田川市	314	295	19	22	292	329
桂川町	17	16	1	1	16	1
川崎町	250	249	1	20	230	172
添田町	1,380	1,172	208	210	1,170	-
朝倉市	3,014	2,697	317	721	2,293	9,695
東峰村	900	888	12	270	630	276
筑前町	626	625	1	71	555	1,470

4

アンケート調査結果一覧

(1) インターネットアンケート調査(1次)

Q1 あなたの性別・年代にあてはまるものをお答えください。

		%
1	男性・10代	0.6
2	男性・20代	7.2
3	男性・30代	16.9
4	男性・40代	13.8
5	男性・50代	6.8
6	男性・60代以上	2.7
7	女性・10代	0.8
8	女性・20代	12.5
9	女性・30代	22.3
10	女性・40代	11.1
11	女性・50代	4.0
12	女性・60代以上	1.3

Q2 あなたのお住いの地区にあてはまるものをお答えください。

		%
1	福岡市	68.4
2	北九州市	30.6
3	その他	1.1

Q3 あなたと同居している方をすべてお答えください。

※「子供」についてはあなたご自身のお子様についてお答えください。[MA]

		%
1	配偶者	56.2
2	子供(小学生以下)	28.8
3	子供(中学生以上)	18.1
4	自分(配偶者)の親	21.4
5	自分(配偶者)の兄弟姉妹	7.7
6	自分(配偶者)の祖父母	1.8
7	その他	2.9
8	同居していない	21.3

Q4 休日の観光・レジャーに良く行くエリアはどれですか。(複数回答)

		%
1	福岡・博多エリア	69.0
2	北九州エリア	32.4
3	山口下関エリア	16.1
4	久留米エリア	5.9
5	宗像エリア	7.7
6	糸島前原エリア	17.6
7	筑豊エリア	4.4
8	八女筑後エリア	3.5
9	朝倉エリア	6.7
10	柳川エリア	3.1
11	筑紫エリア	4.1
12	糟屋エリア	8.6
13	その他	7.3
14	特に行かない	15.1

Q5 観光・レジャーに行く場所を決める条件として大事なものは何ですか。

以下のうち3つまでお答えください。(複数回答)

		%
1	歴史・文化に魅力がある	16.3
2	温泉などの癒しや休養できる場所がある	43.8
3	海や山などの自然景観にふれ、楽しめる	37.1
4	地域ならではの食や特産品を楽しめる	32.0
5	スポーツを楽しめる	5.1
6	テーマパークやアミューズメント施設がある	20.2
7	ハイキングやキャンプなどのアウトドアが楽しめる	4.4
8	子どもや家族と一緒に遊び、楽しめる	24.5
9	公共交通の便がよい	16.7
10	旅行料金が安い	19.8
11	目的地までの距離が近い	18.7
12	その他	1.8
13	特にない	5.9

Q6 嘉麻市及び嘉麻市の観光にまつわる以下のキーワードをご存知ですか？（％）

	よく知って いる	多少内容は 知っている	名前は 聞いたこと がある	全く 知らない
1.嘉麻市の名前・場所について	8.7	16.9	30.0	44.4
2.カッホー馬古屏（農産物直売所）	2.5	1.9	3.7	91.9
3.道の駅うすい	2.9	4.4	12.7	80.0
4.フルーツ狩り・観光農園（りんご・梨）	3.3	11.2	17.7	67.7
5.遠賀川の源流地[SA]	4.5	9.5	17.3	68.8
6.益富城址（豊臣秀吉一夜伝説）	0.9	2.1	7.2	89.8
7.沖出古墳公園	0.6	1.4	5.4	92.6
8.山野の楽	0.4	0.9	3.4	95.3
9.山野の石像群（五百羅漢）	0.6	1.6	6.4	91.4
10.織田廣喜美術館	0.7	1.1	3.9	94.3
11.馬見山・屏矢・古処山	1.6	3.0	7.8	87.7
12.キャンプ場（馬見山・古処山）	1.5	3.2	8.3	87.0
13.ふるさと交流館なつきの湯	0.8	1.5	3.9	93.8
14.サルビアパーク	0.9	1.3	6.6	91.2
15.梅林公園（観梅会）	1.1	2.5	9.1	87.4
16.稲築公園（さくらまつり）	0.9	2.1	8.3	88.7

Q7 あなたが感じる嘉麻市の観光地のイメージについてあてはまるものをお答えください。
（複数回答）

	％
1 歴史・文化に魅力がある	15.2
2 山・川などの自然景観にふれ、楽しめる	35.7
3 地域ならではの豊かな食や農産物・特産品を楽しめる	18.2
4 ハイキングやキャンプなどのアウトドアが楽しめる	8.0
5 スポーツを楽しめる	1.6
6 子どもや家族と一緒に遊び、楽しめる	5.0
7 温泉などの癒しや休養できる場所がある	6.5
8 その他	2.1
9 特に特徴的なイメージはもっていない	52.6

Q8 嘉麻市に観光に訪れたことはありますか(もしくは、訪れたことがない方は訪れたいと思いますか) (％)

	2回以上 訪れたこと がある	1回訪れた ことがある	訪れたこと はないが 関心はある	訪れたこと がなく、 関心もない
1.農産物直売所(カッホー馬古屏・道の駅うすい)	3.4	3.8	49.6	43.2
2.フルーツ狩り・観光農園(りんご・梨)体験	1.6	3.5	57.0	37.9
3.益富城址	0.3	1.0	46.3	52.4
4.沖出古墳公園	0.3	0.8	38.3	60.5
5.山野の楽	0.3	0.6	29.3	69.8
6.山野の石像群(五百羅漢)	0.3	1.1	35.5	63.0
7.織田廣喜美術館	0.3	0.8	31.4	67.5
8.馬見山・屏矢・古処山	1.2	2.5	31.8	64.4
9.遠賀川の源流地	1.5	4.0	46.1	48.5
10.キャンプ場(馬見山・古処山)	0.8	2.0	36.6	60.5
11.ふるさと交流館なつきの湯	0.4	1.2	42.0	56.4
12.サルビアパーク	0.7	1.3	36.2	61.8
13.梅林公園(観梅会)	0.8	1.4	39.8	58.1
14.稲築公園(さくらまつり)	0.7	1.3	43.9	54.1

Q9 観光・レジャーの地域情報・観光情報の入手手段として普段利用しているものをお答えください。(複数回答)

	％
1 テレビ・ラジオ	53.9
2 旅行雑誌・旅行ガイドブック	52.0
3 新聞・一般雑誌記事	27.5
4 旅行会社のパンフレット	22.0
5 旅行先の行政や観光協会などのガイドブック・パンフレット	13.9
6 インターネットのホームページ	72.3
7 駅や電車内でのポスター・チラシ	16.9
8 口コミ(家族や友人からの勧め)	43.0
9 旅行先の観光協会の窓口で直接問い合わせる	1.9
10 旅行代理店に直接問い合わせる	1.1
11 その他	0.8
12 特にない	5.8

(2) インターネットアンケート調査結果(2次)

【2次調査対象者属性】

性別・年代

		%
1	男性・10代	0.0
2	男性・20代	3.6
3	男性・30代	11.0
4	男性・40代	11.2
5	男性・50代	27.4
6	男性・60代以上	10.6
7	女性・10代	0.0
8	女性・20代	5.0
9	女性・30代	12.0
10	女性・40代	7.2
11	女性・50代	8.6
12	女性・60代以上	3.4

お住いの地区

		%
1	福岡市	62.6
2	北九州市	37.4
3	その他	0.0

あなたと同居している方

		%
1	配偶者	72.6
2	子供(小学生以下)	23.2
3	子供(中学生以上)	33.6
4	自分(配偶者)の親	18.6
5	自分(配偶者)の兄弟姉妹	4.4
6	自分(配偶者)の祖父母	1.6
7	その他	3.4
8	同居していない	10.8

Q1 これまで嘉麻市にどの程度訪れていますか。

		%
1	1回	27.0
2	2回	14.8
3	3回	7.6
4	4～5回	17.8
5	6～7回	3.0
6	10回以上	29.8
7	訪れたことはない	0.0

Q2 嘉麻市を訪れる際の交通手段は何ですか。(複数回答)

		%
1	自家用車	93.2
2	鉄道	7.8
3	路線バス	5.4
4	観光バス	2.8
5	レンタカー	1.2
6	施設の送迎サービス	0.0
7	その他	2.4

Q3 嘉麻市を訪れるきっかけは何ですか。(複数回答)

		%
1	雑誌・新聞でみた	10.8
2	旅行代理店で知った	1.2
3	テレビ・ラジオの番組から	3.8
4	インターネットから	7.4
5	知人・友人にすすめられた	14.8
6	祭り等イベントがあったから	9.6
7	他地域に行く時、立ち寄った	40.2
8	以前、訪れて良かったから	9.4
9	たまたま通りかかった	39.2
10	その他	19.4

Q4 嘉麻市に訪れる時、他のエリアとあわせて立ち寄りたい(嘉麻市とあわせ立ち寄ったことがある)ところがありますか。以下の立寄先の中からお選びください。(複数回答)

		%
1	旧伊藤伝右衛門邸	32.2
2	嘉穂劇場	36.2
3	八木山高原	28.4
4	英彦山・英彦山神宮	55.8
5	田川市美術館	6.8
6	歓遊舎ひこさん	18.4
7	秋月	63.2
8	うきは白壁通り	14.4
9	麒麟ビアパーク福岡	32.8
10	道の駅うきは	39.2
11	小石原焼窯元	51.6
12	この中にはない	5.8

Q5 旅行にかかる予算はどのくらいですか。

①日帰り旅行(一人あたり)

		%
1	1,000円未満	1.0
2	1,000～2,000円未満	7.8
3	2,000～5,000円未満	43.6
4	5,000～10,000円未満	38.4
5	10,000～20,000円未満	7.2
6	20,000円以上	2.0

Q6 旅行にかかる予算はどのくらいですか。

②宿泊旅行(一人あたり)

		%
1	1,000円未満	0.4
2	1,000～2,000円未満	0.2
3	2,000～5,000円未満	0.8
4	5,000～10,000円未満	18.4
5	10,000～20,000円未満	54.2
6	20,000円以上	26.0

Q7 旅行にでかける時の同行者はどなたですか。(複数回答)

		%
1	一人	19.8
2	夫婦	50.6
3	友人・知人	39.4
4	子ども連れの家族	35.2
5	大人の家族	15.0
6	団体・グループ	9.6
7	その他	2.8

Q8 あなたが嘉麻市に観光で訪れたいくなるために必要な魅力は何でしょうか。(複数回答)

		%
1	1日周遊して観光できる観光地（施設）がある	26.8
2	都会にはないさまざまな自然にふれることができる	51.4
3	地元の新鮮な農産物を買う・食べることができる	61.0
4	地元の農業にふれ、体験ができる	6.2
5	歴史や文化を知ることができる	28.4
6	ゆったりくつろげる温泉が楽しめる	43.0
7	ぶらぶら歩きながら楽しめるスポットや街並みがある	29.0
8	いろいろな体験を楽しめる	8.6
9	森林浴やウォーキングなど健康に良いことができる	23.6
10	子どもが楽しめる施設がある	15.8
11	地元の人とふれあうことができる	2.6
12	参加したい催事や祭りがある	11.6
13	地元の特産品や名物料理を楽しめる	40.2
14	お土産などのショッピングが楽しめる	21.2
15	市内での様々な割引サービスがある	3.8
16	泊まってみたい宿泊施設がある	23.0
17	公共交通手段をつかっていろいろな観光地を巡ることができる	6.2
18	ペットと旅行ができる	5.6
19	その他	3.4

(自由記述)

1) これまで嘉麻市に訪れて良かった観光スポットなど

●農産物直売施設 24 件

・カッホー馬古堀:新鮮な野菜を安く買うことができました。
・道の駅うすい ・手作りふるさと村

●フルーツ狩り 21 件

・なし狩り旬のものを安く食べれて、子供づれでも楽しめた。
・りんご園:りんご狩りのあとバーベキューなどをして楽しかったのを覚えています。

●古処山・馬見山・キャンプ場 16 件

・古処山キャンプ村特別天然記念物のツゲの原生林に囲まれて素晴らしい環境です。
・古処山「遊人の杜」何度も行きました。

●自然 15 件

・自然に満ち溢れている。

●遠賀川 10 件

・遠賀川河川敷 春に菜の花がとてもきれいでした。 ・遠賀川の源流

●花 7 件

・梅林公園(5 件):梅は見事でした。母と訪れたのですが、美しい景色が忘れられません。
・つつじ ・さくら ・ひまわり畑

●歴史・文化財 7 件

・安国寺に行きましたが、自然が豊かで空気も良く、文化財も堪能できて良かったです。
・一夜城 2 件 ・稲築八幡宮 ・益富城 ・鮭神社 ・山野の楽伝統的で楽しめた。

●サルビアパーク・なつきの湯 6 件

・温水プールの設備がよかった。

●酒造 4 件

・黒田武士酒造での見学買い物が印象的。 ・嘉穂の玉の井酒造

●美術館 4 件

●石田プリン 3 件

●イベント 2 件

・トロッコフェスタ 子供時代に戻れた。
・マラソンなどのイベントで、ついでに農産物などを買ったのが良かった。

●嘉穂牛 2 件

●その他

・おいしいものが多い。 ・体験米づくり ・熊ヶ畑の自然がよい。
・下山田小学校。学校らしからぬ学校で楽しかった。 ・嘉麻峠のドライビング

●市外の観光地 58 件

・ビール工場 2 件 ・観遊舎ひこさん 3 件 ・伊藤伝右衛門邸 6 件
・英彦山(英彦山神社) 9 件 ・嘉穂劇場 11 件 ・源じいの森 1 件
・秋月 14 件 ・勝盛公園 1 件 ・小石原 9 件 麻生大浦邸 2 件

2) 嘉麻市が観光地として魅力を高めていくため、今後取り組んだらよいと思うこと (自由記述)

●PR活動 (PR 不足である)・情報発信・イメージアップ 79 件

- ・もっとPRをしていく。どんな観光スポットがあるかあまり知れ渡ってないと思う。
- ・もっとPRをして広く知ってもらうことが先決だと思います。知り合いの中でも「どこ?」と言う人が少なくありませんでした。
- ・天神や博多駅で交通機関とタイアップしたキャンペーン。
- ・HPの充実 (HPがさびしい)。
- ・インターネットで詳しく紹介。
- ・TVの情報番組などに積極的に露出して、うきはなどのようにドライブがてらいきたくなるように広報したらよいと思う。
- ・インターネットや都市圏で宣伝活動 (PR) をもっと行うこと。
- ・オゾンのたくさんある山林を売りにPRする。石炭では人を集めることは難しいと思われる。今からはエコです。
- ・まずは嘉麻市の知名度アップ、福岡に住んでいる私でも最近までどこどころが合併してできた市かは知らなかった。
- ・もっと歴史・食事・名産など地のものをアピールしたらよいと思う。
- ・一つ、これ!という特産か、観光地をアピールしたら良いと思う。
- ・嘉穂牛についてもメディアの報道で知った。もっと、メディア等を使った、宣伝が必要ではないか?
- ・福岡市の中心地 (博多・天神) から日帰り旅行が出来る!というフレーズをイベントや広告を利用して普及させる。大宰府へ行く感じに皆が捉えると良いと思う。

●特産品等食ブランドの開発・産直の充実 41 件

- ・道の駅等産直販売の拡充。(8 件)
- ・御当地スイーツの開発。
- ・強いキャッチフレーズ「嘉麻」の名前が易しく入った特産品。
- ・産直品等の情報発信を行う。農業を主体とした観光 (体験農業、産直市など)。
- ・自然を生かした農産品や民芸品を作り、エコタウンとして売り込む。
- ・地域の特産物を展開したレストランやカフェなどのアンテナショップ。景色の良いところにあるといいです。
- ・地元で取れた新鮮農畜産物の販売・食事のできるとことがあれば、北九州・福岡から手ごろな日帰り観光地としてよいと思う。
- ・地元の人々と交流しながら農業体験などができればいい。
- ・地元の特産物が安く買える施設を沢山増やしたらいいと思う。民芸品などの「物」よりも食べ物関係を増やせばもっと伸びるんじゃないでしょうか?
- ・伝統の食材を使った飲食店がわかりやすいといい。
- ・独自のお食事どころ (囲炉裏をおいたり、掘りごたつだったり田舎を演出したもの)。
- ・魅力ある物産センターのような物があればいいと思う。地元の野菜や手作りの食品 (お菓子やお惣菜) など、各地に同じような物はあるがとても魅力的で行きたくなくなる施設だと思う。

●交通・案内環境 32 件

- ・交通の利便性がもう少し充実してほしいと思います。バスも出ていますがそんなに本数もなくあまり観光できませんでした。
- ・マップや標識の整備。
- ・案内板の設置。
- ・もう少しバスなど便利がよいといいかも。もしくは土日祝限定などで観光スポットを巡るバスを運行するとかよいと思います。
- ・観光マップをつくり、スタンプラリーのようなものをつくって特産品のプレゼントをしたらいい。
- ・古い歴史を感じさせる説明と施設。
- ・国道200/201号線に観光地の地図を掲げてほしい。
- ・無料駐車場の確保。
- ・名所、史跡のわかりやすさ。
- ・冷水峠・八木山バイパスの無料化。

●施設等資源の充実 20 件

- ・テーマパークなどの建設。(3件)
- ・もう少し温泉地を増やす。宿泊施設を増やす。
- ・オートキャンプなどで福岡市や北九州市などの近隣から安い費用で行けるような施設。特にお土産や食べ物の名産物を作ることが一番だと思います。田舎のイメージがあるので、道の駅で特色を出して、地産地消を売りにして欲しいです。
- ・おそばの美味しい店が外にあれば。
- ・カッホーを「道の駅」として、駐車スペースをはじめとする休憩機能を充実して欲しい。
- ・ファミリーで楽しめる鳥栖のアウトレットモールのような施設や、グリーピア八女にあるドッグコテージのあるペットと一緒に自然を楽しめる施設は出来るのではないかな？
- ・旧駅舎を休憩所兼案内所兼安い地元の特産品販売に。
- ・もっと食事できる場所が多いといい、チェーン店以外で。
- ・安くて良い宿泊施設を作ること。源じいの森のような。
- ・果物狩りが出来る場所のまわりに、その果物を使ったものが食べられるおしゃれなカフェなどがあればいいと思う。
- ・旧炭鉱と、他の町に無いテーマパークを、作ってほしいです。
- ・競技場を含めたスポーツ施設。
- ・郊外に、遠くからでも車で来れるように駐車場が広くのんびり出来る芝生広場や球技場、温泉施設、お土産売場、犬の散歩ロードなど複合施設を備えた場所を作るといいように思います。
- ・児童遊戯施設を中心とした憩いのスポット造り。
- ・駐車場の整備。

●温泉施設の充実 19 件

- ・温泉宿泊施設の充実ちいさい子供と楽しめる施設の整備。
- ・温泉手形など、温泉施設同士がもっとつながりを深めていったらどうか。
- ・家族風呂が充実した温泉施設を設けてほしい。しかも、利用しやすい料金設定で。

●このままで良い（自然のまま残してほしい） 13 件

- ・もっとありのままの自然を楽しめるようにして欲しい。
- ・下手にハコモノを造らずに今ある自然と農地を活かして少し長くのんびりできる癒しスポットを目指してみてもいいでしょうか。
- ・下手に施設などを作らず、貴重な自然に触れ合いやすくするための遊歩道、休憩所、トイレ、駐車場の整備ぐらいにするだけで、都会にはない癒しの公園が出来ると思う。
- ・今のままで充分です。遊ぶ施設などを増やすと今の魅力が半減します。

●核となる（独自の特色を出した）観光拠点づくり 9 件

- ・メインとなる観光施設を作ることだと思う。
- ・嘉麻市独自の、ここならではの、他では見られないものがある。
- ・独自の路線を見出されないと観光客はすぐに飽きたり他所と比べてしまうと思います。川下りは色々な場所にありますが「のんびりシーカヤッククルーズ」などは北海道まで行かないと難しいので比べる人も少ないと思いますし、その途中でデイキャンプランチ（地産地消の）することができたり…今は「川」をテーマに挙げましたが、「釜」「窯」「鎌」いろんな「かま」を集めてみるのも面白そうな気がしました。鎌を楽器にした「鎌ライブ」とか全国の窯元に集まってもらう「窯サミット」とか。

●イベントの充実 8 件

- ・イベントと農産物などの販売をリンクする。
- ・ふるさと祭りを開催。
- ・もっと若者が魅力に思えるイベントを催したらよい。
- ・季節ごとのイベントを増やす。春の桜、秋のコスモス等、レンタサイクルで日帰りでも長時間遊べる街づくりなど。
- ・体験イベントを拡大していく。

●自然を活かした観光資源の開発・自然のアピール 7 件

- ・見ごたえがある植物園などを希望します。四季折々の花畑は人を引きつけます。あじさい祭り、ラベンダー畑、一面のひまわり畑、コスモスパーク、もみじ寺、満開のバラ園、はぜ並木など。点在しているのではなく、車でちょっと行ける範囲にいくつかあると嘉麻市に寄りたくなると考えています。
- ・桜や紅葉に可能ならば菜の花やコスモスなど既存の観光地に四季の付加価値を付けていくと立ち寄る人が多くなるような気がします。さらに滞在を伸ばすにはJR等の「ウォーキング」企画を組み込んで、半日かけて嘉麻市を散策してもらう機会を増やす等良いように思います。
- ・四季折々の景色がゆっくり楽しめる大規模公園（植物園等を含んだ）と隣接した休息施設や宿泊施設などがあれば。
- ・秋月に抜ける道などとても自然が素晴らしいのでもっとアピールしてみてもいいでしょうか。
- ・森林が多い地域なので森林浴、木の温もりを感じる木工細工など特化して行くと魅力がでるのでは。

●歴史文化財の充実 6 件

- ・歴史を表に出し、町並みを整備する。
- ・昔のエネルギー産業を回顧と今後の産業の動向を展示したと思います。
- ・炭鉱町であったことの遺産。
- ・文化財の整備。
- ・歴史的な文化財をもっとアピール。出身の有名人にちなんで観光地を作る。

(3) 市内観光施設アンケート調査

① 回答者属性

施設 調査場所

(1)	カッホー馬古屏	28.0%
(2)	道の駅うすい	14.6%
(3)	宮小路果樹組合	56.1%
	無回答	1.2%
	計	100.0%

性別

(1)	男性	41.5%
(2)	女性	57.3%
	無回答	1.2%
	計	100.0%

年齢

(1)	19歳以下	3.7%
(2)	20～29歳	8.5%
(3)	30～39歳	7.3%
(4)	40～49歳	7.3%
(5)	50～59歳	22.0%
(6)	60～69歳	34.1%
(7)	70歳～	14.6%
	無回答	2.4%
	計	100.0%

③ あなたの暮らしている世帯の構成

(1)	単身	11.0%
(2)	夫婦のみ	42.7%
(3)	親子（子ども小学生以下）	8.5%
(4)	親子（子ども中学生以上）	25.6%
(5)	その他	9.8%
	無回答	2.4%
	計	100.0%

④ あなたはお住いの地区

(1)	嘉麻市内	23.2%
(2)	福岡市	11.0%
(3)	北九州市	12.2%
(4)	飯塚市	31.7%
(5)	田川市	3.7%
(6)	田川郡内町村	1.2%
(7)	糟屋郡	1.2%
(8)	その他	13.4%
	無回答	2.4%
	計	100.0%

⑤ 嘉麻市へは何回、訪れていますか？

(1)	はじめて	18.3%
(2)	2回目	13.4%
(3)	3回目	6.1%
(4)	4回目	4.9%
(5)	5回以上	8.5%
(6)	10回以上	30.5%
	無回答	18.3%
	計	100.0%

⑥ 嘉麻市に来た主な目的は？

(1)	農産物直売所	42.7%
(2)	キャンプ	0.0%
(3)	史跡・歴史探訪	0.0%
(4)	食事	3.7%
(5)	自然鑑賞・ハイキング	1.2%
(6)	祭り・イベント	3.7%
(7)	神社参拝	1.2%
(8)	ビジネス	1.2%
(9)	観光農園	32.9%
(10)	その他	3.7%
	無回答	9.8%
	計	100.0%

⑦ 今回の旅行はどなたと何人で訪れましたか？(人数)

(1)	1人	11.0%
(2)	2人	47.6%
(3)	3～5人	20.7%
(4)	5人以上	6.1%
	無回答	14.6%
	計	100.0%

⑦ 今回の旅行はどなたと何人で訪れましたか？(同伴者)

(1)	自分ひとり	3.7%
(2)	家族	59.8%
(3)	友人・知人	8.5%
(4)	職場・学校関係	0.0%
(5)	旅行会社などの募集团体	0.0%
(6)	その他	0.0%
	無回答	28.0%
	計	100.0%

⑧ 嘉麻市の観光に関する情報は何で知りましたか？

(1)	観光案内所	3.7%
(2)	道の駅等の観光施設	22.0%
(3)	市の広報・パンフ等	8.5%
(4)	テレビ	13.4%
(5)	新聞	19.5%
(6)	知人の紹介	26.8%
(7)	インターネット	1.2%
(8)	特にない	17.1%
(9)	その他	11.0%
	無回答	7.3%
	計	100.0%

⑨ 嘉麻市へはどのような交通機関で訪れましたか？

(1)	車（自家用車）	86.6%
(2)	車（レンタカー）	1.2%
(3)	バス（公共交通）	0.0%
(4)	バス（観光バス）	0.0%
(5)	電車	0.0%
(6)	徒歩	0.0%
(7)	その他	0.0%
	無回答	12.2%
	計	100.0%

⑩ 嘉麻市で立ち寄ったことのある場所は？

(1)	カッホー馬古屏	70.7%
(2)	道の駅うすい	53.7%
(3)	フルーツ狩り体験	53.7%
(4)	益富城址	7.3%
(5)	沖出古墳公園	1.2%
(6)	織田廣喜美術館	13.4%
(7)	馬見山・屏矢・古処山	11.0%
(8)	ツゲの原生林	1.2%
(9)	キャンプ場（馬見山・古処山）	14.6%
(10)	ふるさと交流館なつきの湯	7.3%
(11)	サルビアパーク	20.7%
(12)	稲築文化ふれあい伝承館	2.4%
(13)	碓井郷土館・碓井平和祈念館	7.3%
(14)	山田郷土資料室	1.2%
(15)	お菊大明神	3.7%
(16)	鮭神社	6.1%
(17)	稲築八幡宮	3.7%
(18)	白馬山景福安国寺	4.9%
(19)	山野の石像群	7.3%
(20)	梅林公園	22.0%
(21)	稲築公園	18.3%
(22)	その他	1.2%
	無回答	3.5%
	計	100.0%

⑬ 今回の嘉麻市の観光で以下の項目に1人あたりいくらくらい使われましたか？

		飲 食	土 産	その他 の観光
(1)	1,000円以下	2.4%	0.0%	0.0%
(2)	1,000円台	8.5%	4.9%	3.7%
(3)	2,000円台	7.3%	7.3%	1.2%
(4)	3,000円台	11.0%	14.6%	1.2%
(5)	4,000円台	1.2%	3.7%	0.0%
(6)	5,000円以上	4.9%	9.8%	1.2%
(7)	10,000円以上	1.2%	4.9%	0.0%
	無回答	63.4%	54.9%	92.7%

⑭ 嘉麻市にまた来たいと思いますか？

(1)	ぜひ来たい	39.0%
(2)	来てもいい	34.1%
(3)	あまり来たくない	2.4%
(4)	来ない	0.0%
	無回答	24.4%
	計	100.0%

